brank / 鳃 / 「鰓(えら)」の簡体字 / 日本語「鰓」と同源で、中国語圏でも一般的に「鱼」＋「思」で「魚のえら」を示すので両者にわかりやすい

* skurĝ / 鞭 / むち(鞭打ち)の意味に直接対応 / 「鞭」は日本語・中国語とも「ムチ」の意味がわかりやすい
* spad / 剑 / 細身の長剣(レイピア様)を中国語で表す際によく使われる / 「剑」は“剣”の簡体字。他の「sword系」語根とも統合しやすい
* kartoĉ / 弹 / 弾・薬包のイメージとして最短 / 本来「弹壳(弾殻)」「弹药筒」などが正確だが、画数削減のため「弹」に集約
* kiras / 甲 / 古代中国で鎧を意味する用法があり、シンプル / 「铠(鎧)」より画数が少なく、日本語でも“甲冑”の「甲」で連想しやすい
* ŝild / 盾 / 盾の意味に最適な単字 / 日本語の「盾」とほぼ同形で視覚的にわかりやすい
* kron / 冠 / 王冠を表す常用字 / 日本語でも“冠”の字形が馴染み深い
* tiar / 冠 / ペルシャの王冠を意味するが、画数を抑え同じ「冠」で統合 / 特殊な「冕」よりも筆画が少なく再利用しやすい
* egid / 盾 / アテナの神盾。既に「ŝild＝盾」と同字を使い回し / 同じ盾概念なので「盾」を再利用して学習コストを削減
* amulet / 符 / お守りや護符の意味で使われる / 道教のお札「符」のイメージがあり、中国語圏・日本語圏ともに護符の連想がしやすい
* talisman / 符 / 「amulet」とほぼ同義の護符 / 同じ概念なので「符」を再利用
* rapir / 剑 / (細身の)レイピア / 「spad」と同じく細身剣なので「剑」を再利用
* epolet / 肩章 / 軍の肩章を表す標準的な言い方 / 単字が存在しないため2文字熟語で対応
* bisturi / 柳刀 / 「柳叶刀(柳葉刀)」の略でランセットを示す / 本来は3文字「柳叶刀」だが画数を考慮し「柳刀」に簡略化。すでに「刀」は「glav」で使用済
* ponard / 匕首 / 両刃の短剣(ダガー)の代表的呼称 / 単字「匕」は古風かつ曖昧なため、2文字で正確に表現
* kling / 刃 / 刃身・刃の部分を示す / シンプルで画数も少なく、中国語・日本語ともに「刃」で通じやすい
* glav / 刀 / エスペラントで一般的な「剣」だが、中国語では多く単刃武器を「刀」と総称 / 既出の「刀」を再利用
* nadl / 针 / 針(注射器針・方位針など)全般 / 中国語で「针」は“針”の簡体字、日本語圏にも連想しやすい
* alen / 锥 / 突き針・千枚通しに近い意味合い / 「錐」の簡体字で、裁縫や革細工で用いる道具をイメージ
* ung / 爪 / つめ、爪 / 「指甲」とする方法もあるが、単字かつ画数が少ない「爪」で簡潔に
* najl / 钉 / 釘 / 中国語の「釘」の簡体字、画数も少なめ
* pingl / 针 / ピン(針の一種)として「针」を再利用 / 「nadl(針)」と同じ概念に近く兼用
* ŝraŭb / 螺丝 / ねじ(スクリュー) / 単字が存在しないため2文字熟語で。最も一般的な呼称
* kejl / 木钉 / 木釘 / 「木(材)＋钉(釘)」でわかりやすく2文字表現
* martel / 锤 / 金槌 / 「錘」の簡体字。「槌」との区別も含め、中国語では「锤」が一般的

ĉan/扳机/「引き金」を意味する標準的な中国語。銃の撃鉄部分を含む引き金全体を指し得る/2文字だが「扳(手偏)」「机(木偏)」はいずれも基本的な部首で学習コストも比較的低い

bajonet/刺刀/中国語で銃剣を表す一般的な語/「刀」部首は日本人にも分かりやすく、今後も使い回しやすい

kugl/弹/「弾丸」の意。子弾(子弹)より簡潔で1文字で表せる/やや多義だが簡潔で画数も少なめ(9画)、他の「弾」関連語との親和性も高い

lanc/矛/「槍(ランス)」に相当。中国語では古来より矛＝槍の意がある/画数(5画)も少なく「木」など他部首との重複がないため混同も少ない

arĉ/弓/弦楽器の弓にも「弓」を用いるのは中国語でも通じる/最も基本的な弓の字(3画)で単純かつ認知度が高い

sag/箭/「矢」を意味する標準的な漢字/日本語にも同形で存在し、意味の推測が容易

arbalest/弩/クロスボウを表す単字/6画と比較的シンプルで、中国語で弩は専ら「クロスボウ」の意

fork/叉/「フォーク」の意で、口にする食器フォークを指す簡単な字/3画と非常に少なく、今後も「叉状のもの」として応用可能

pugn/拳/「こぶし」の意味で広く使われる単字/日本語「拳」と同形で分かりやすい

vip/鞭/「むち」の意/画数はやや多め(15画)だが、対応する単字が他にないため採用

kegl/瓶/ボウリングのピンは瓶状でもあるため「瓶」を転用/「ボトル」の本義から形状が類推可能。部首「瓦」は本リストでは初出だが比較的有名

palis/桩/「杭」「くい」「柵柱」を意味する標準的な字/木偏で「棒」「杆」などとも系列化しやすい

timon/杆/車のかじ棒・梶棒のような「長い棒」を表す一字として採用/同じ“棒状”概念の「棒」「桩」などと木偏を共有

baston/棒/「棒」「杖」「バトン」などを指す代表的な字/日本語と同形で直感的。12画だが広い意味範囲をカバー

stang/棒/「棒」「竿」「杆」に近い意味ゆえ、既出「棒」を再利用/同形割当で学習コスト削減、区別は上付き記号などで対応

kapon/阉鸡/去勢された雄鶏＝カポンの標準表現(阉=去勢、鸡=鶏)/単字が無いため2字熟語。阉(門構え)はやや画数多め

pedel/小吏/「小役人」や「下級官吏」に近い表現/1文字に収まらないため2文字で意図を明確化。吏は役人の意

bub/顽童/「いたずらっ子」「やんちゃ坊主」を表す一般的な語/顽(頑の簡体)、童(子ども)で構成。2文字ながら分かりやすい

dand/花花公子/「伊達男」「洒落者」「プレイボーイ」に近い表現/4文字だが中国語で通用し、日本語話者もイメージしやすい

rekt/angul##/长方形/「直角(正角)＋角」で「矩形・長方形」の意に近いため標準表現を採用/長方形は3文字だが数学用語として定着している

romb/菱形/「ひし形」「菱形」を意味する標準的表現/「菱」+「形」の2文字。幾何学用語として周知

lozanĝ/菱形/同じく「菱形」を指すため前項と同じ割当を再利用/重複活用で学習コスト削減

oval/卵形/「卵形」「楕円形」のうち、画数が比較的少ない卵形を選択/中国語でも「卵形」は意味が通じ、日本語話者にも馴染みやすい

konus/圆锥/「円錐」を指す標準的な2文字熟語/数学用語として広く使われる。圆(9画)+锥(10画)

kvadrat/正方形/「正方形」を意味する一般的な表現/3文字だが日本語・中国語ともに幾何学用語として定着

kub / 立方 / 「立方体」の略。数学用語として「立方」で「立方体」「三乗」などの意味を連想しやすい / 「立」(6画)と「方」(4画)の2文字で、どちらも後続で再利用可能

* tri/angul## / 三角 / 本来は「三角形」だが、2文字で簡略化。「三角」で「三つの角＝三角形」の意味は十分伝わる / 「三」(3画)「角」(7画)は画数も比較的少なく、既知の範囲で理解されやすい
* trapez / 梯形 / 中国語の標準的な「台形」に相当する幾何用語は「梯形」。日本語の「台形」に近く、互いに理解しやすい / 新出の「梯」(11画)以外は「形」(3画)を再利用。やや画数は多めだが標準用語
* parabol / 抛物线 / 放物線の中国語標準は「抛物线」。数学で「抛物线」は馴染み深い / 「抛」(8画)「物」(4画)「线」(8画)でやや多めの画数だが、中国語話者に意味が伝わりやすい
* paralelogram / 平行四边形 / 平行四辺形の中国語標準。長いが一般的 / 「平」(5画)「行」(6画)「四」(5画)「边」(5画)「形」(3画) と多字数だが、後続で「平行」「边形」など再利用可能
* paralel / 平行线 / 「平行線」の中国語標準。「平行」だけでも通じるが、線を明示し「线」を後続で再利用可能に / 「平」(5画)「行」(6画)「线」(8画) は既に他の幾何用語にも出現
* diagonal / 对角线 / 対角線の中国語標準 / 「对」(4画)は後述の「对数」「对称」などとも共有、「角」(7画)や「线」(8画)も既出
* kalkul / 算 / 「計算する・勘定する」を表す単字。「计算(計算)」でもよいが、画数を抑えるため単一の「算」を採用 / 14画だが日本語圏・中国語圏とも“計算”のイメージで理解しやすい
* aritmetik / 算术 / 中国語標準の「算術」。日本語の「算数」に近い概念 / 「算」(再利用)＋「术」(5画) で画数は比較的抑えめ。両言語とも連想可能
* subtrah / 减 / 減算を表す簡体字。日本語の「減」に相当 / 7画と短めで、「減法」「加減」など派生概念にも再利用可能
* adici / 加 / 加算を表す常用字。日本語の「加」と同形 / 5画と少ないため学習コストも低い
* multiplik / 乘 / 掛け算(乗法)を表す常用字。「乗る」の意味もあるが、数学文脈で「掛け算」のイメージをもつ / 10画だが中国語・日本語の「乗法」「乗数」と対応しやすい
* simetri / 对称 / 対称を表す中国語標準 / 「对」(4画)は既出、「称」(8画)も比較的画数が少なく「名称」などで再利用可能
* logaritm / 对数 / 対数の中国語標準 / 「对」(再利用)＋「数」(後述で「数学」などに使用) で学習・認知しやすい
* trigonometri / 三角函数 / 中国語で三角法・三角関数を指す代表的用語。「三角法」は日本語寄りだが、中国語では「三角函数」が一般的 / 「三角」(既出)＋「函」(8画)＋「数」(再利用)。1字「函」が新出になるが、標準的
* matematik / 数学 / 両言語で「数学」。「数」(再利用)＋「学」(8画) / 学習上も最頻出語であるため、少々画数があっても優先度高
* algebr / 代数 / 代数学の略称として標準 / 「代」(5画)は新出だが意味を推測しやすく、「数」は再利用
* teorem / 定理 / 中国語・日本語ともに「定理」が標準 / 「定」(8画)「理」(11画) と画数はそこそこだが、数学用語として周知
* aksiom / 公理 / 公理も同様に標準的表現 / 「公」(4画)は新出、「理」(再利用) で把握しやすい
* ekvaci / 方程 / 方程式＝「方程式」としては本来「方程式(方程+式)」だが、簡略して「方程」として示す例多し / 「方」(「立方」で既出)＋「程」(12画) 新出だが比較的よく使う
* obl / 倍 / “…倍”を表す常用字。日本語同形 / 10画とやや多めだが、両言語で“倍数”の連想が容易
* poligon / 多边形 / 多角形の中国語標準。日本語でも「多角形」の同源語として理解しやすい / 「多」(3画)新出＋「边」(「平行四边形」で既出)＋「形」(既出) で意味が明確
* plural / 复数 / 文法用語「複数形」を中国語では「复数(形式)」。ただし数学では「complex number」としても同表記 / 「复」(9画)新出＋「数」(再利用)。両言語で“複数”を類推可能
* plur / 多 / 単に「複数・多数」を示したいときに使いやすい字 / 3画と少なく、既に「多边形」で登場しており学習負荷も低い
* plur / 多 / 上と同じ理由で重複割当 / 同字「多」を継続利用することで学習コストを抑える

decimal

* + 提案漢字: 十
  + 選定理由: 「十」(ten)は十進法(decimal)の基盤となる「10」を端的に表す。日本語・中国語圏いずれでも「10」を連想しやすい。
  + 学習コスト等: 非常に画数が少なく、既出の「十」を他の語根でも転用可能。

1. on (分数を示す接尾辞)
   * 提案漢字: 分
   * 選定理由: 「分」は「分ける」「分数」の「分」に通じ、 fraction(分数) の概念と結びつけやすい。日本語・中国語とも「分」は「割る・部分」などのイメージが強い。
   * 学習コスト等: 画数が少なく、日本語・中国語学習者にも馴染みやすい。
2. frakci (分数)
   * 提案漢字: 分数
   * 選定理由: 中国語では fraction を「分数」と書くのが一般的。単に「分」だけでは「on」との区別がつきにくいので、明示的に「数」を付した。
   * 学習コスト等: 「分」は先に登場済みで使い回し可。「数」は新規だが、数学関係で今後も出現可能。
3. segment (線分)
   * 提案漢字: 段
   * 選定理由: 標準的には「线段」(線分)だが、1文字に簡略化する場合は「段」(区切られた一部分)を充てるのも手。日本語でも「段」は「区切り」を連想できる。
   * 学習コスト等: 「段」はやや画数が多い(9画)が、単体で「区切り」を表す漢字として使い回し可能。
4. tangent (正接)
   * 提案漢字: 切线
   * 選定理由: 中国語で「tangent」は「切线」が一般的。1文字での表現は難しく、「切」(cut) と「线」(line) の組合せが分かりやすい。
   * 学習コスト等: 画数は合計8画(「切」4画+「线」4画)と比較的少なめ。
5. kvadratur (求積法; quadrature)
   * 提案漢字: 求积
   * 選定理由: 中国語の数学用語で「求积」は面積など「積分(積を求める)」の概念に近い。
   * 学習コスト等: 「求」は新規だが7画、「积」は10画(繁体: 積)でやや多いものの、数学分野では今後再利用の可能性あり。
6. racional (有理の; rational)
   * 提案漢字: 有理
   * 選定理由: 「有理数」を表す際、中国語では「有理」(“reason/exist + reason”)が使われる。「合理」(reasonable)とは少し意味がずれるので注意。
   * 学習コスト等: 「有」(6画)＋「理」(5画)。どちらも日本語でも常用する要素。
7. kvocient (商; quotient)
   * 提案漢字: 商
   * 選定理由: 中国語の割り算の結果(quotient)は「商」と呼ぶ。日本語でも「商」といえば割り算の答えを示すため直感的。
   * 学習コスト等: 単体1文字で済み、読みやすく画数(11画)は許容範囲。
8. koeficient (係数; coefficient)
   * 提案漢字: 系数
   * 選定理由: 中国語で「係数」は「系数」の表記が一般的。1文字では表せないため2文字を採用。
   * 学習コスト等: 「数」は既出(「分数」など)。新規「系」(7画)はほかにも「体系」「系列」などで再利用可能。
9. renesanc (ルネサンス; renaissance)

* 提案漢字: 复兴
* 選定理由: 中国語で「Renaissance」は「文艺复兴」と呼ぶが、簡略形として「复兴」(復興)も広く「ルネサンス/再興」のニュアンスを伝えられる。
* 学習コスト等: 「复」(9画)、「兴」(6画)。どちらも比較的使用頻度が高い。

1. reformaci (宗教改革; the Reformation)

* 提案漢字: 改革
* 選定理由: 厳密には「宗教改革」は「宗教改革」4文字だが、短縮して「改革」(reform)でも歴史上の“改革”を連想できることが多い。
* 学習コスト等: 「改」(7画)、「革」(9画)。既に何度か登場する可能性のある単語。

1. krist (キリスト; Christ)

* 提案漢字: 基督
* 選定理由: 中国語で「キリスト」は「基督」。1文字に省略すると誤解を招きやすいため2文字を採用。
* 学習コスト等: どちらも比較的よく使われる宗教関連用字。

1. jesu (イエス; Jesus)

* 提案漢字: 耶稣
* 選定理由: 中国語で「イエス」は「耶稣」。単一漢字では表せない。
* 学習コスト等: 「耶」(7画)、「稣」(12画)。宗教関連で限定的に使用される。

1. jezuit (イエズス会士; Jesuit)

* 提案漢字: 耶稣会
* 選定理由: 中国語で「Jesuit(イエズス会)」は「耶稣会」。
* 学習コスト等: 上記「耶」「稣」「会」は既出(「教会」などで出る見込み)あるいは応用範囲が広め。

1. bibli (聖書; Bible)

* 提案漢字: 圣经
* 選定理由: 中国語で「聖書」は「圣经」。単一漢字でなく2文字だが非常に一般的。
* 学習コスト等: 「圣」(5画)、「经」(5画)。どちらも頻出度が高く覚えやすい。

1. evangeli (福音書; gospel)

* 提案漢字: 福音
* 選定理由: 中国語で「福音」は“gospel”に相当。福音書も「福音书」だが、2文字に簡略化。
* 学習コスト等: 「福」(13画)はやや多め。「音」(9画)も一般的だが画数多。宗教関連なので仕方なし。

1. eklezi (教会; church＜組織＞)

* 提案漢字: 教会
* 選定理由: 「教会」(religious institution)は中国語でも同じ表現。建物では「教堂」だが、ここでは組織を指すので「教会」。
* 学習コスト等: 「教」は後述の「宗教」にも流用可能。「会」も多義(集まり)で汎用的。

1. sinagog (ユダヤ教会=シナゴーグ)

* 提案漢字: 犹太会堂
* 選定理由: 中国語標準は「犹太会堂」。単文字では表現しにくく、ユダヤ教関連で最も通じやすい名称。
* 学習コスト等: 4文字とやや長いが、既存の漢字(犹,太,会,堂)自体は比較的学習頻度が高い。

1. kongregaci (教団; congregation)

* 提案漢字: 会众
* 選定理由: 宗教文脈での「congregation」は「会众」と呼ぶことが多い。「教众」とする場合もあるが「会众」のほうが集会ニュアンスが強い。
* 学習コスト等: 「会」は既出。「众」(6画)は「多数の人」の意味で分かりやすい。

1. religi (宗教; religion)

* 提案漢字: 宗教
* 選定理由: 中国語では「宗教」が最も一般的。1文字「教」だけでは「教える」意味もあり曖昧なので2文字が無難。
* 学習コスト等: 「宗」(8画)と「教」(10画)。宗教全般に使うため再利用頻度は高い。

1. sekt (宗派; sect)

* 提案漢字: 派
* 選定理由: 中国語で「派」は「派閥」「教派」「流派」など、派生・分派の概念。1文字でわかりやすい。
* 学習コスト等: 6画と少なく、宗教・流派など様々な場面で転用可。

1. paroĥ (教区; parish)

* 提案漢字: 教区
* 選定理由: 中国語の「parish」は「教区」。
* 学習コスト等: 「教」は既出、「区」(4画)は新規だが非常に基本的。

1. parok (教区; parish)

* 提案漢字: 教区
* 選定理由: 「paroĥ」と同義。綴りの揺れに相当するが同じ漢字を用いて問題ない。
* 学習コスト等: すでに「教区」を充てているため追加負担なし。

1. monoteism (一神論; monotheism)

* 提案漢字: 一神教
* 選定理由: 中国語では「一神教」(one + god + religion)が定番表現。
* 学習コスト等: 「一」「神」「教」はどれも学習機会が多く、派生語にも出現しやすい。

1. politeism (多神教; polytheism)

* 提案漢字: 多神教
* 選定理由: 中国語の「多神教」(many + god + religion)が定番表現。
* 学習コスト等: 「多」「神」「教」は比較的日常でも見かけやすい字。

katolik

* + 提案漢字: 天主
  + 選定理由: 中国語で「カトリック教会」は「天主教」と表記されることから、「天主」はカトリックを連想しやすい。「公教」という呼称もあるが、より広く通じやすいのは「天主」系統。
  + 学習コスト: 2文字だが、いずれも比較的画数が少なく、日本語話者・中国語話者とも「天主教」から連想できる。

1. puritan
   * 提案漢字: 清教徒
   * 選定理由: 「清教徒」は歴史用語として定着しており、最も通じやすい表現。
   * 学習コスト: 3文字とやや多めだが、中国語・日本語ともに辞書的に見慣れた形。
2. pilgrim
   * 提案漢字: 朝圣
   * 選定理由: 「巡礼(する)」にあたる動詞・名詞として「朝圣(者)」が広く用いられる。2文字で比較的わかりやすい。
   * 学習コスト: 新出の「朝」「圣」だが、「圣」は後にも登場し流用する。
3. preĝ
   * 提案漢字: 祈
   * 選定理由: 「祈る」に最も直結した単文字。日本語の「祈り」や中国語の「祈祷」に通じ、意味を把握しやすい。
   * 学習コスト: 1文字なのでコンパクト。
4. kult
   * 提案漢字: 礼
   * 選定理由: 「礼拝」や「礼儀」の「礼」。宗教的な礼拝・崇拝を含意できるうえ画数が少ない。
   * 学習コスト: 1文字かつ5画と少なめ。
5. liturgi
   * 提案漢字: 典礼
   * 選定理由: カトリックなどの文脈で「ミサ典礼」などと言うように、「典礼」は宗教儀式(リトゥルギア)を指すのに比較的用いられる表現。
   * 学習コスト: 「礼」は既出。新出の「典」(8画)のみ追加で比較的シンプル。
6. orden
   * 提案漢字: 勋章
   * 選定理由: 勲章(＝decoration, medal)を示す標準的な中国語。「勋」単体だと「功績」の意味合いが強く、ややズレがあるため2文字で提案。
   * 学習コスト: 2文字。どちらも日本語圏でも「勲章」の形で見かけるため理解しやすい。
7. bapt
   * 提案漢字: 洗礼
   * 選定理由: 「洗礼」は日中ともにバプテスマ(baptism)を表す定訳。
   * 学習コスト: 「礼」は既出なので、実質「洗」(9画)のみ新たに学ぶ形。
8. konsekr
   * 提案漢字: 祝圣
   * 選定理由: カトリックなどで聖別・奉献を行うとき「祝圣」という表現をよく用いる。
   * 学習コスト: 「圣」は既出。「祝」(9画)のみ新出。
9. anunciaci
   * 提案漢字: 领报
   * 選定理由: 「受胎告知の祝日」は中国語で「圣母领报」や「天使报喜」と呼ばれるが、短縮形として「领报」も用いられることがある。
   * 学習コスト: 「领」(9画)・「报」(7画)はいずれも比較的単純。
10. epifani
    * 提案漢字: 主显节
    * 選定理由: 「主顕節」は中国語で「主显节」と書かれる。公教系のカレンダー等で見られる表記。
    * 学習コスト: 「主」は(1)天主で既出。「显」(9画)・「节」(5画)はここで新出。
11. pentekost
    * 提案漢字: 五旬节
    * 選定理由: ペンテコステは中国語プロテスタント圏で「五旬节」と呼ぶことが多い(カトリック側は「圣神降临节」等)。こちらがより簡潔で画数も少なめ。
    * 学習コスト: 「五」(4画)・「旬」(10画)・「节」(既出)なので新出は2文字分。
12. pask
    * 提案漢字: 复活节
    * 選定理由: 復活祭(Easter)の中国語表記として「复活节」が広く使われる(ユダヤの過越祭を意味する場合は「逾越节」)。
    * 学習コスト: 「复」(9～10画)・「活」(9画)はいずれも初登場、「节」は既出。
13. advent
    * 提案漢字: 降临节
    * 選定理由: キリスト教では待降節(アドベント)を中国語で「降临节」と呼ぶ。
    * 学習コスト: 「降」(8画)・「临」(9画)が新出。「节」は既出。
14. kruc
    * 提案漢字: 十字架
    * 選定理由: 十字架を表す最も直接的かつ広く認知された表記。
    * 学習コスト: 3文字だが「十」(2画)は非常に簡単。「字」(6画)・「架」(9画)も比較的頻出。
15. krucifiks
    * 提案漢字: 苦像
    * 選定理由: カトリック文脈では「耶稣苦像」などと呼ばれ、受難のキリスト像を示すことが多い。短縮して「苦像」と提案。
    * 学習コスト: 「苦」(8画)・「像」(9画)はいずれも初出だが、2文字で収まる。
16. hosti
    * 提案漢字: 圣饼
    * 選定理由: 聖体拝領に用いるパン(ホスチア)を指して「圣饼」と呼ぶことがある。
    * 学習コスト: 「圣」は既出。「饼」(8画)のみ新出。
17. komuni
    * 提案漢字: 圣餐
    * 選定理由: 「聖餐式」は中国語で「圣餐」(Holy Communion)と呼ばれる。
    * 学習コスト: 「餐」(10画)のみ新出。「圣」は既出。
18. eŭkaristi
    * 提案漢字: 圣体
    * 選定理由: エウカリスチア(聖体の秘跡)を指す場合、「圣体」(特にカトリック)という言い方がある。「圣餐」と区別したい場合に用いられる。
    * 学習コスト: 「圣」は既出。「体」(7画)のみ新出。
19. kobold
    * 提案漢字: 小鬼
    * 選定理由: 「kobold」は小鬼・小悪魔的存在として描かれることも多く、「小鬼」で概ね伝わりやすい。
    * 学習コスト: 「小」(3画)は非常に簡単、「鬼」(9画)は新出。
20. gnom
    * 提案漢字: 地精
    * 選定理由: ゲームやファンタジー文脈で「gnome」を「地精」と訳すことが多い。「地の精」という意味合い。
    * 学習コスト: 「地」(6画)、「精」(14画)。後述の「精灵」「妖精」などで「精」を流用。
21. anĝel
    * 提案漢字: 天使
    * 選定理由: 「angel」は中国語でも「天使」が最も一般的かつ簡潔。
    * 学習コスト: 「天」(4画)は(1)天主で既出。「使」(8画)は新出。
22. elf
    * 提案漢字: 精灵
    * 選定理由: エルフを中国語では「精灵」とする例が多い(妖精・精霊的存在)。
    * 学習コスト: 「精」は(21)地精で既出。「灵」(7画)のみ新出。
23. fe
    * 提案漢字: 妖精
    * 選定理由: 「fairy」を漢語圏で表すなら「妖精」が比較的一般的(やや妖怪的ニュアンスも含むが、文脈により“フェアリー”的に使われる)。
    * 学習コスト: 「妖」(7画)のみ新出。「精」は既出。
24. monstr
    * 提案漢字: 怪物
    * 選定理由: 最も直接的に「怪物」を指す常用表現。単字「怪」だと形容詞的要素が強くなるため、2文字で提案。
    * 学習コスト: 「怪」(8画)・「物」(8画)はいずれも基本的な漢字。

fantom / 鬼 /

* + 理由: 「幽霊」「亡霊」に相当。中国語圏では「鬼(guǐ)」は「幽霊・妖怪」など幅広く指し、日本語でも「鬼」は怪異や亡霊的存在を連想させるため意味を推測しやすい。
  + 学習コスト: 画数は10画。悪霊・妖怪などにも使われるため、幅広い“怪異・霊的存在”をまとめてカバーできる。

1. diabl / 魔 /
   * 理由: 「悪魔」の意。中国語圏では「魔(mó)」が「悪魔」や「魔性」を表し、日本語でも「魔」は「悪魔」「魔力」などを連想しやすい。
   * 学習コスト: 9画。後述の“demon”等とも重複利用可能。
2. demon / 魔 /
   * 理由: 悪霊・デーモンの意。上記「魔」を再利用し、「悪魔・魔物」とまとめて扱う。
   * 学習コスト: 既出の「魔」を再利用することで漢字総数を増やさない。
3. furi / 怒 /
   * 理由: 復讐の女神(フューリー)＝激しい怒り・憤怒の象徴。「怒(nù)」で「激しい怒り」を表現。
   * 学習コスト: 9画だが、中国語・日本語とも「怒」は「激しい怒り」を分かりやすく示す。
4. paradiz / 天堂 /
   * 理由: 「天国」「楽園」の意。中国語で「天堂(tiāntáng)」は「天国、パラダイス」を意味し、日本語でも「天」「堂」の組み合わせから宗教的な「天国」と推測しやすい。
   * 学習コスト: 2文字(「天」4画 + 「堂」11画)。単字「天」だけでは空/天空と紛らわしいため、2文字熟語を採用。
5. eden / 伊甸 /
   * 理由: 「エデンの園」の意。中国語で「伊甸(yīdiàn)」は“Eden”の音訳として定着している。
   * 学習コスト: 新出2文字(「伊」「甸」)だが、聖書・宗教関連ではやむを得ない固有名詞として扱う。
6. sankt / 圣 /
   * 理由: 「聖なる、神聖な」の意。簡体字「圣(shèng)」は日本語「聖」の簡体形であり、双方で“神聖”を連想しやすい。
   * 学習コスト: 5画。「聖」の簡体形なので比較的わかりやすい。
7. di / 神 /
   * 理由: 「神」「神格」を指す。中国語で「神(shén)」は「神・神様」を表し、日本語でも「神」で同義。
   * 学習コスト: 9画。
8. Di## / 神 /
   * 理由: 一神教の「唯一神」。同じ「神」で割当し、必要に応じて上付き文字や注釈で区別可能。
   * 学習コスト: 「神」の再利用で漢字種類は増やさない。
9. diakon / 执事 /

* 理由: 「助祭」「ディアコーン」。中国語で「执事(zhíshì)」は教会の役職を示す際によく使う用語。
* 学習コスト: 2文字熟語。「执(執)」「事」はどちらも比較的基本的な漢字。

1. orakol / 神谕 /

* 理由: 「神託」の意。中国語で「神谕(shényù)」は「神のお告げ」「神託」。
* 学習コスト: 「神」は既出、「谕」は新出(10画)。

1. providenc / 天意 /

* 理由: 「神の摂理」「天の配剤」のような概念。中国語で「天意(tiānyì)」は「天(神)の思し召し」。
* 学習コスト: 2文字熟語。「天」は先に「天堂」で使用済み、「意」はやや画数あるが常用。

1. altar / 坛 /

* 理由: 「祭壇」の意。簡体字で「坛(tán)」。本来は「祭坛」と2文字が一般的だが、1文字で祭壇を指す場合もあるため簡略化。
* 学習コスト: 7画。「坛」は日本語の「壇」の簡体形。

1. maŭzole / 陵 /

* 理由: 「霊廟(れいびょう), mausoleum」。中国語では「陵(líng)」だけで皇帝の大規模な墓を指すことが多い。
* 学習コスト: 10画。1字で「大きな墓・陵墓」を示すため比較的わかりやすい。

1. pagod / 塔 /

* 理由: 「仏塔(パゴダ)」。中国語で「塔(tǎ)」は「塔・パゴダ」を指す。日本語でも「塔」は仏塔などを連想しやすい。
* 学習コスト: 12画だが、汎用的な「塔」で説明しやすい。

1. katedral / 教堂 /

* 理由: 「大聖堂」。中国語で「教堂(jiàotáng)」はキリスト教系の聖堂を指し、日本語でも文字どおり「教えの堂＝教会堂」と理解しやすい。
* 学習コスト: 「教(11画)」+「堂(11画)」。やや多いが、カテドラルに最も近い2字熟語として妥当。

1. moske / 清真寺 /

* 理由: 「回教寺院」「モスク」。中国語で「清真寺(qīngzhēnsì)」が正式。
* 学習コスト: 3文字(「清」「真」「寺」)。単字では意味を十分に伝えにくいため3字を使用。

1. templ / 寺 /

* 理由: 「寺院」「神殿」等、広義の「寺」。最もシンプルかつ分かりやすい1文字。
* 学習コスト: 6画。既出の「清真寺」とも部分的に関連し、混乱は少ない。

1. kript / 墓室 /

* 理由: 「地下聖堂(crypt)」に近い意味。中国語では「墓室(mùshì)」が「墓中の部屋」を指し、地下の礼拝空間にも近い概念。
* 学習コスト: 2文字。「墓」は13画、「室」は9画。単字では表しづらいため妥協案。

1. sakristi / 圣具室 /

* 理由: 「聖具室(サクリスティ、ヴェスティ)」。中国語で直訳すると「圣具室(shèngjùshì)」。
* 学習コスト: 3文字(「圣」既出+「具」+「室」既出)。専門的な語なので、2文字では難しい。

1. sakrament / 圣礼 /

* 理由: 「秘跡」(聖礼典、サクラメント)。中国語で「圣礼(shènglǐ)」は「神聖な儀式」を指す。
* 学習コスト: 2文字。「圣」は既出、「礼」は新出だが常用。

1. kapucen / 修士 /

* 理由: 厳密には「カプチン会修道士」だが、単字での表現はほぼ不可能なので「修士(xiūshì)」と簡略化。
* 学習コスト: 2文字。「修(10画)」「士(3画)」。専門宗派を正確に伝えるには不足だが、最低限の意は伝わる。

1. legat / 特使 /

* 理由: 「教皇特使」。中国語で「特使(tèshǐ)」は特別な使節・使者全般。
* 学習コスト: 2文字。「特(10画)」「使(8画)」。厳密には「教皇特使」を省略した形だが簡便さを優先。

1. nunci / 特使 /

* 理由: 「教皇特派大使(大使は ambassador)」だが、同じく「特使」でまとめて使い回し。必要なら上付き文字や注記で区別。
* 学習コスト: 既出の「特使」。漢字の追加を避けるため重複使用。

1. kancelier / 大法官 /

* 理由: 「大法官」「宰相」などに相当する高位の役職。中国語圏では「大法官(dàfǎguān)」を「Chancellor/Chief Justice」と翻訳する場合がある。
* 学習コスト: 3文字。「大(3画)」「法(8画)」「官(8画)」。1文字では表現困難。

kardinal

* 提案: 枢机
* 理由: 「枢机主教」の略称。「枢机」はカトリック用語として「枢機卿」を指すことが多く、中国語でも「枢机」だけで通じる場合がある。
* 学習コスト: 「枢」(8画)・「机」(6画)はいずれも比較的使用頻度が高い字。
* kanonik
* 提案: 参事
* 理由: カトリック教会の「座堂参事会員」に由来する「参事会」を簡略化。正式には「座堂参事」などと表される。
* 学習コスト: 「参」(8画)・「事」(8画)はいずれも常用字。
* prior
* 提案: 小院长
* 理由: 「小修道院長」の意を短縮。「小修道院」は「大修道院(abato)」に比して小規模であり、院長を「小院长」と便宜上表現。
* 学習コスト: 「小」(3画)・「院」(9画)・「长」(4画)は既出/常用字。
* abat
* 提案: 院长
* 理由: カトリック修道院長を中国語で「院长」と表現する場合が多い（仏教なら「住持」などが近いが、ここではカトリック的用法を優先）。
* 学習コスト: 「院」・「长」は上記(3)と同じ。
* vikari
* 提案: 助司
* 理由: 「助任司祭」「助理司铎」のイメージを簡略化。実際の正式呼称は「助理司铎」などが多いが、ここでは画数削減を優先して省略。
* 学習コスト: 「助」(7画)・「司」(5画)はいずれも常用字。
* apostol
* 提案: 使徒
* 理由: 「使徒」が中国語でも定訳。「十二使徒」など宗教用語として広く通じる。
* 学習コスト: 「使」(8画)・「徒」(10画)ともに常用字。
* episkop
* 提案: 主教
* 理由: 「司教」「bishop」に相当する中国語は「主教」が一般的。
* 学習コスト: 「主」(5画)・「教」(10画)はいずれも頻出。
* sacerdot
* 提案: 司铎
* 理由: カトリックにおいては司祭を「司铎」と書くのが正式。日本語の「司祭」と同義。
* 学習コスト: 「司」(5画)は既出。「铎」(10画)はやや珍しいがカトリック用語では重要。
* pastr
* 提案: 牧师
* 理由: プロテスタント系の「牧師」ほか、広義の聖職者(聖職者をまとめて「牧师」とする訳もある)。
* 学習コスト: 「牧」(8画)・「师」(6画)はいずれも常用。
* monaĥ
* 提案: 修士
* 理由: カトリック修道士を中国語で「修士」と書く場合がある（正確には「修道士」だが簡略化）。
* 学習コスト: 「修」(9画)・「士」(3画)は比較的覚えやすい。
* monak
* 提案: 修士
* 理由: 上記「monaĥ」とほぼ同義語であり、重複割当を許容して同じ「修士」を使用。
* 学習コスト: 既出と同一。
* novic
* 提案: 见习
* 理由: 「見習修道士」「修練士」に近い概念。「见习」は「見習い」「研修中」という意味の常用表現なので短縮。
* 学習コスト: 「见」(4画)・「习」(3画)ともに簡単。
* katekist
* 提案: 教理
* 理由: 正式には「教理讲授员」などだが、画数を抑えるため「教理」をそのまま用いる。
* 学習コスト: 「教」(10画)は既出、「理」(11画)は常用。
* kateĥist
* 提案: 教理
* 理由: 上記(katekist)と同意のため、同じく「教理」を再利用。
* 学習コスト: 同上。
* urin
* 提案: 尿
* 理由: 「排尿する」という動詞的意味合いも含むが、簡単に「尿」で代表。
* 学習コスト: 「尿」(7画)は一字で明確に「小便」を示す。
* sekreci
* 提案: 分泌
* 理由: 「分泌物」や「分泌する」の意。単字「泌」は単独ではあまり使われないため、「分泌」と2文字に。
* 学習コスト: 「分」(4画)・「泌」(8画)は比較的覚えやすい。
* ekskrement
* 提案: 粪
* 理由: 「糞便」を示す。「便(biàn)」だと「大小便」全体を含むため、糞の意がはっきりする「粪」を採用。
* 学習コスト: 「粪」(11画)は意味が限定的でわかりやすい。
* sang
* 提案: 血
* 理由: 「血液」を指す一字。中国語圏・日本語圏共に単字「血」で通じる。
* 学習コスト: 「血」(6画)は一字で汎用。
* sperm
* 提案: 精液
* 理由: 「精」だけでは“エッセンス”など広義すぎるため、「精液」と2文字に。
* 学習コスト: 「精」(14画)・「液」(11画)はやや画数多めだが医学用語として一般的。
* uter
* 提案: 子宫
* 理由: 「子宮」の標準的表記。
* 学習コスト: 「子」(3画)・「宫」(8画)。
* testik
* 提案: 睾丸
* 理由: 「睾丸」は解剖学用語で標準的。「丸」だけでは意味が曖昧。
* 学習コスト: 「睾」(9画)・「丸」(3画)。
* ren
* 提案: 肾
* 理由: 「腎臓」の簡体字表記である「肾」を採用。
* 学習コスト: 「肾」(8画)は単字かつ意味も明確。
* hepat
* 提案: 肝
* 理由: 「肝臓」の簡体字。単字「肝」で広く認知される。
* 学習コスト: 「肝」(7画)。
* gal
* 提案: 胆
* 理由: 「胆汁」を一文字にする場合、「胆」でも“胆のう”や“胆汁”の意味を広く内包する。
* 学習コスト: 「胆」(9画)で比較的分かりやすい。
* lien
* 提案: 脾
* 理由: 「脾臓」の要となる字。
* 学習コスト: 「脾」(10画)は医学用語として常用。

peritone / 腹膜 /

* + 選定理由: 「腹膜」は中国語でもそのまま “peritoneum” を指す標準的な医学用語です。
  + 既出等: 今後「腹(ventr)」と重複利用でき、学習コスト削減が期待できます。

1. ezofag / 食管 /
   * 選定理由: 中国医学では「食管」が食道(esophagus)の標準表記の一つ。「食道」も通じますが、「管」は後述の「气管(trachea)」「支气管(bronch)」とも共有できる利点があります。
   * 既出等: 「管」は他でも用いる予定(気管など)のため重複利用が可能です。
2. intest / 肠 /
   * 選定理由: 簡体字で「腸」は「肠」と書き、単独で「腸 / intestine」を意味します。
   * 既出等: 一文字でまとまっており、学習コストが比較的低いです。
3. ventr / 腹 /
   * 選定理由: 「腹」は腹部(abdomen)の単一漢字表記として簡体字でも同形。
   * 既出等: 「peritone(腹膜)」などとの関連語にも使う「腹」を採用し、重複利用が期待できます。
4. stomak / 胃 /
   * 選定理由: 「胃」は中国語でも日本語でも同じ字形で「胃(stomach)」。
   * 既出等: 一文字で画数も少なく分かりやすいです。
5. pulm / 肺 /
   * 選定理由: 「肺」は肺(lung)を直接示す常用字。
   * 既出等: 画数も少なく、単体で意味が通じます。
6. traĥe / 气管(气管) /
   * 選定理由: 簡体字では「气管」と書き、気管(trachea)の標準医学用語です。
   * 既出等: 「食管(ezofag)」と同じ「管」を再利用。学習コスト低減になります。
   * 補足: 表記は「气管」が正しい簡体字ですが、日本語圏には「氣管」のほうが馴染みあるかもしれません。
7. bronk / 支气管 /
   * 選定理由: 中国語で「支气管」は気管支(bronchi)を指す標準的な医学用語。
   * 既出等: 「气管」と同じ「气」「管」を再利用。
8. vejn / 静脉 /
   * 選定理由: 「静脉」は“vein(静脈)”の標準医学用語。
   * 既出等: 後述の「arteri(动脉)」「aort(主动脉)」と「脉」を共有できます。
9. arteri / 动脉 /

* 選定理由: 「动脉」は“artery(動脈)”の中国語。
* 既出等: 「脉」は「vejn(静脉)」「aort(主动脉)」などと共通。

1. aort / 主动脉 /

* 選定理由: 「主动脉」は “aorta(大動脈)” に相当する標準的医学用語。
* 既出等: 「动」「脉」はすでに他で使用しているため、重複可能。

1. difteri / 白喉 /

* 選定理由: 「白喉」は diphtheria(ジフテリア)を指す中国語の一般的名称。
* 既出等: 「白」は後の「白内障(katarakt)」などとも重複利用可能です。

1. difterit / 白喉 /

* 選定理由: “difteri” と同義派生の語根なので同じ「白喉」を割り当て。
* 既出等: 上記difteriと同様。

1. erizipel / 丹毒 /

* 選定理由: 「丹毒」は erysipelas(丹毒)の一般名称。
* 既出等: 「毒」は後述の「梅毒(sifilis)」とも重複利用できます。

1. tif / 斑疹伤寒 /

* 選定理由: “typhus(発疹チフス)” は中国語で「斑疹伤寒」が最も一般的。
* 既出等: 4文字とやや長いですが、正確性を優先しました。

1. sifilis / 梅毒 /

* 選定理由: 「梅毒」は syphilis を示す常用医学用語。
* 既出等: 「毒」は「丹毒」などと共通です。

1. hidrofobi / 恐水病 /

* 選定理由: rabies(狂犬病)の症状として “hydrophobia” を指す場合、中国語では「恐水病」も通じます。
* 既出等: 「病」は後述の「糖尿病(diabet)」「纠发病(plik)」などでも使われ、重複利用が可能。

1. hipertrofi / 肥大 /

* 選定理由: hypertrophy(肥大)を示すシンプルな2文字表現。
* 既出等: 「肥」は初出ですが、画数が比較的少なく分かりやすいです。

1. katarakt / 白内障 /

* 選定理由: cataract(白内障)の標準医学用語。「白」+「内」+「障」。
* 既出等: 「白」はdifteri(白喉)などとも重複利用可能。

1. diabet / 糖尿病 /

* 選定理由: diabetes(糖尿病)を直接指す最も一般的な用語。
* 既出等: 「病」はhidrofobi(恐水病)等と共通。

1. plik / 纠发病 /

* 選定理由: Polish plait(糾髪病)に対応する直訳的な中国語として「纠发病」が考えられます。
* 既出等: 「病」部分が他と重複します。

1. kal / 老茧 /

* 選定理由: “callus(たこ・胼胝)”にあたる日常的中国語として「老茧」が比較的通用しやすい表現。
* 既出等: 新出の漢字ですが、2文字で意味をつかみやすいです。

1. fav / 黄癣 /

* 選定理由: favus(黄癬)は中国語で「黄癣」(黄癬)とも呼ばれます。
* 既出等: 「黄」「癣」はここで初出ですが、医学上やむを得ず2文字表現となります。

1. skrofol / 瘰疬 /

* 選定理由: scrofula(るいれき)は中国医学で「瘰疬」と記載。
* 既出等: 医学用語ゆえ2文字が標準的です。

1. skabi / 疥疮 /

* 選定理由: scabies(かいせん)を指す中国語標準用語。
* 既出等: 「疥」「疮」ともに皮膚系疾患でしばしば見られますが、新規漢字になります。

furunk

* 提案: 疔
* 選定理由: 「furunk(ねぶと/皮膚の小さな腫れもの)」に相当する医学用語として、中国語で単字表記される「疔(dīng)」が“できもの(腫れ物)”を指し、furuncle(ブドウ球菌による皮膚化膿)に比較的近い意味合いを持つため。
* 既出偏旁・学習コスト: 疒(病だれ)を含む単字であり、後続の多くの病名とも共通の偏旁「疒」を使い回せる。
* pips
* 提案: 鸟舌
* 選定理由: 鳥の舌に関わる病気の意で、単字の正式医学用語が見当たらないため、便宜的に「鸟(鳥)＋舌」の2文字熟語を仮設定。「pips」は実際の臨床でもあまり馴染みが薄い病名のため、やむを得ず2文字造語。
* 既出偏旁・学習コスト: 既存の漢字(鸟・舌)はいずれも常用で画数も比較的少なく、日本語圏・中国語圏どちらでも直感しやすい。
* tuberkul
* 提案: 结节
* 選定理由: 「tubercle(結節)」に対応し、現代中国語で最も一般的な表記は「结节(jiéjié)」。単字での対応語は存在しない。
* 既出偏旁・学習コスト: 「结(糸へん＋吉)」「节(竹かんむり＋即系)」はいずれも常用字だが、やや新しい偏旁が増える点は留意。
* fistul
* 提案: 瘘
* 選定理由: 「fistula(瘻孔)」の簡体字は「瘘(lòu)」。医学用語として単字で成立。
* 既出偏旁・学習コスト: 疒＋娄 という組み合わせで、疒(病だれ)の再利用が可能。
* pustul
* 提案: 脓疱
* 選定理由: 「pustule(膿疱)」を示す標準的な簡体字表現は「脓疱(nóngpào)」。単字で正確に「膿疱」を表す文字はないため2文字。
* 既出偏旁・学習コスト: 「脓」は「膿」の簡体字、「疱」は「疒＋包」の形。画数は少し増えるが一般的用法。
* tetan
* 提案: 破伤风
* 選定理由: 「tetanus(破傷風)」の標準的な中国語は「破伤风(pòshāngfēng)」。単字は存在しない。
* 既出偏旁・学習コスト: 3文字だが、中国語圏で広く通用する一般名称。「伤風」は後述の「風邪(伤风)」とも一部重複がある。
* katalepsi
* 提案: 僵直
* 選定理由: 「catalepsy(強硬症)」には「僵直(jiāngzhí)」が“身体がこわばる状態”を直接表す言葉として近い。
* 既出偏旁・学習コスト: いずれも常用字だが、新たに「僵」(つちへん＋畺)と「直」を導入する。やや画数多め。
* herni
* 提案: 疝
* 選定理由: 「hernia(ヘルニア)」は中国語で「疝气(shànqì)」または「疝」で示される。ここでは簡潔に単字「疝」。
* 既出偏旁・学習コスト: 疒＋山。すでに病だれ(疒)を使用しているので学習コストも少なめ。
* ŝankr
* 提案: 下疳
* 選定理由: 「chancre(下疳・下疳症)」に対応し、中国語では「下疳(xiàgān)」が標準表記。
* 既出偏旁・学習コスト: 2文字表記だが「疳」は疒＋甘の組み合わせ。「下」は画数が非常に少ない。
* ulcer
* 提案: 溃疡
* 選定理由: 「ulcer(潰瘍)」は中国語で「溃疡(kuìyáng)」が一般的。
* 既出偏旁・学習コスト: 「溃」はさんずい＋貴(简体：贵)、「疡」は疒＋兀のような構造。どちらも医学常用語。
* kolik
* 提案: 疝痛
* 選定理由: 「colic(疝痛/腹痛)」は中国語で「腹绞痛」などもあるが、日本語由来の「疝痛」でも通じる場合がある。既に「疝」を導入済みなので使い回し。
* 既出偏旁・学習コスト: 「痛」は新規だが、「疝」はすでに(herni)で使用済み。
* piroz
* 提案: 烧心
* 選定理由: 「heartburn(胸やけ)」を口語的に「烧心(shāoxīn)」と言う。正式には「胃灼热」などもあるが、より簡潔。
* 既出偏旁・学習コスト: 「烧」は火＋尧の簡体形、「心」は単純。既に「烧」は(14)の発熱とも関連付け可。
* angin
* 提案: 咽峡炎
* 選定理由: 「angina/quinsy(口峡炎)」は中国語で「咽峡炎(yānxiáyán)」が一般的。
* 既出偏旁・学習コスト: 3文字。「咽(口＋因)」「峡(山＋夾の簡体)」「炎(火が重なる)」のそれぞれが初出だが、標準的医学用語。
* febr
* 提案: 发烧
* 選定理由: 「febrile, fever(高熱)」は日常中国語では「发烧(fāshāo)」が最も一般的表現。
* 既出偏旁・学習コスト: 2文字で画数も比較的少なく、口語で広く通じる。「烧」は(12)とも重複。
* inflam
* 提案: 炎症
* 選定理由: 「inflammation(炎症)」に相当する標準医学用語が「炎症(yánzhèng)」。
* 既出偏旁・学習コスト: 「炎」は比較的画数少なめ。「症」は疒＋正(合計10画程度)で病名に多用する。
* epidemi
* 提案: 疫
* 選定理由: 「epidemic(伝染病・流行病)」としては「流行病」「疫病」などがあるが、一文字で「疫(yì)」が“伝染性疾病”の意を古くから持つ。学習コストを抑えるため単字採用。
* 既出偏旁・学習コスト: 疒＋殳の組み合わせ。「疒」を継続利用できる。
* mal/varm/um##
* 提案: 伤风
* 選定理由: 「風邪(かぜ)」を中国語では「感冒」か「伤风(shāngfēng)」。既に「伤」「风」は(6)破伤风と重複使用可。
* 既出偏旁・学習コスト: 2文字ながら「伤」「风」は再利用可能文字。
* grip
* 提案: 流感
* 選定理由: 「influenza(インフルエンザ)」は「流感(liúgǎn)」が最も一般的な省略形。
* 既出偏旁・学習コスト: 「流」はさんずい＋留、「感」は既存漢字の「心」要素含むが新出。2文字で標準的名称。
* ekzem
* 提案: 湿疹
* 選定理由: 「eczema(湿疹)」に対応する中国語は「湿疹(shīzhěn)」。短く代表的。
* 既出偏旁・学習コスト: 「疹」は疒＋㐱(?)で(22)の麻疹とも共通利用可能。
* podagr
* 提案: 痛风
* 選定理由: 「gout(痛風)」は中国語で「痛风(tòngfēng)」。日本語表記を直訳した形でもある。
* 既出偏旁・学習コスト: 「痛」は(11)疝痛と同じ、「风」は(6)(17)などとも共通。文字の使い回しができる。
* disenteri
* 提案: 痢
* 選定理由: 「dysentery(赤痢・下痢性の病)」は「痢疾(lìjí)」等が標準だが、短縮形として単字「痢」で“痢病(下痢・赤痢)”全般を指す。
* 既出偏旁・学習コスト: 疒＋利。2要素だが、単字表記なので文字数を抑えられる。
* morbil
* 提案: 麻疹
* 選定理由: 「measles(はしか)」は「麻疹(mázhěn)」が一般的。
* 既出偏旁・学習コスト: 「疹」は(19)湿疹と同じ。「麻」はやや画数多めだが中国語・日本語ともに認知度が高い。
* lepr
* 提案: 麻风
* 選定理由: 「leprosy(癩病)」は中国語で「麻风(máfēng)」「麻风病」と表記。短くするため2文字に。
* 既出偏旁・学習コスト: 「麻」は(22)と共通、「风」は既出の再利用。
* epilepsi
* 提案: 癫痫
* 選定理由: 「epilepsy(てんかん)」は標準的に「癫痫(diānxián)」。単字は存在せず、通例この2字で表記。
* 既出偏旁・学習コスト: いずれも疒(病だれ)に関わる複雑な形だが、医学用語として定着した標準表現。
* skorbut
* 提案: 坏血病
* 選定理由: 「scurvy(壊血病)」は中国語で「坏血病(huàixuèbìng)」。3文字だが短縮しにくく、これが通例名。
* 既出偏旁・学習コスト: 「坏(土+不)」「血」「病(疒+丙)」。どれも比較的基本的な構成要素。

konvulsi / 痉 /

* + 選定理由: 中国語では「痉挛(痙攣)」が「けいれん・ひきつけ」を意味し、その中核をなす「痉」で「けいれん」を連想しやすい。
  + 学習コスト: 「疒(病だれ)」偏旁を含む病気関連漢字として一貫性がある。

1. gangren / 坏疽 /
   * 選定理由: 中国語で「坏疽(壊疽)」は gangrene(壊疽)の標準的呼称。単字「疽」だけでは意味がやや分かりにくいため、2文字熟語に。
   * 学習コスト: 病気関連ではあるが、新たに「坏」「疽」という2字を導入。しかし「疒(病だれ)」偏旁は「疽」に含まれ、他病名とも共通性がある。
2. reŭmatism / 风湿 /
   * 選定理由: 中国語でリウマチは「风湿(病)」が通用。短い2文字であり、日本語でも「風湿→リウマチ」の連想は比較的容易。
   * 学習コスト: 「风」は既出の偏旁とは異なるが画数は少なく、「湿」も基本的な部首(氵)を使う。
3. katar / 黏膜炎 /
   * 選定理由: catarrh(カタル)＝粘膜の炎症を指すので、中国語では「黏膜炎」が最も直接的な表現。1文字化は難しいため3文字熟語を採用。
   * 学習コスト: やや長め(3字)だが、医療用語としては標準的。部首「疒(病だれ)」ではなく「黏」「膜」「炎」という構成。
4. artrit / 关节炎 /
   * 選定理由: 中国語で「関節炎」は「关节炎」が標準。
   * 学習コスト: 「关」「节」「炎」の3字はいずれも比較的よく使われる簡体字。
5. ftiz / 肺结核 /
   * 選定理由: 「肺結核(肺结核)」＝phthisis(肺結核の古称)に対応。結核でも特に肺の症状を指す標準表現。
   * 学習コスト: 「肺」と「结核」はいずれも病気関連でよく出る漢字・熟語。
6. tuberkuloz / 结核 /
   * 選定理由: 一般的な結核症全般を指すなら「结核」そのものが標準用語。
   * 学習コスト: #6 と同じく「结核」。すでに登場した語を流用することで学習コストを下げられる。
7. variol / 天花 /
   * 選定理由: 中国語で天然痘は「天花」が通常の呼称。単字の「痘」もあるが、やや広義(他の“疱疹”類)になり得るため2文字を採用。
   * 学習コスト: 「天」は画数が少なく、日本語圏でも意味把握が容易。
8. kokluŝ / 百日咳 /
   * 選定理由: 百日咳＝whooping cough は日中ともに「百日咳」が定訳。
   * 学習コスト: 「百」「日」「咳」はいずれも基本的な字形で、理解しやすい。
9. skarlatin / 猩红热 /

* 選定理由: 猩紅熱(しょうこう熱)は中国語で「猩红热」が正式名称。
* 学習コスト: やや画数多めだが、医学用語としては頻出。偏旁「疒」は入らないが、赤(红)の文字で「紅い熱病」を連想しやすい。

1. diet / 饮食 /

* 選定理由: 医学的な“規定食”や食事指導全般を指す語として、中国語で広く「饮食(飲食)」が用いられる。
* 学習コスト: 非常に基本的な2字。「饮」(飲)と「食」はともに初学者も覚えやすい。

1. higien / 卫生 /

* 選定理由: 衛生(衛生)は簡体字で「卫生」。最も一般的な訳語。
* 学習コスト: 2文字だが、どちらも画数は少なめで頻用語。

1. san / 健 /

* 選定理由: 「健康」のうち「健」を抽出して「健康な」の意を担わせる。日本語でも「健〇(健全、保健など)」で“健康”連想は容易。
* 学習コスト: 単独使用で画数を減らす。今後「健康」「健在」などにも展開可能。

1. fart / 健 /

* 選定理由: エスペラントの「farti」は「(健康)状態である」を意味し、「san(健康)」と近縁。同じ漢字「健」を使い回すことで学習コスト削減。読み分けは振り仮名・上付き文字等で区別。
* 学習コスト: 新規文字を増やさずに済む。

1. imun / 免疫 /

* 選定理由: 免疫の標準表現は「免疫」。1字に省略は困難。
* 学習コスト: 「免」と「疫」はどちらも医療分野で目にする機会が多い。

1. inokul / 接种 /

* 選定理由: 中国語で「接种」はワクチン注射など広く「接種する」を意味。
* 学習コスト: 2字で比較的分かりやすい。既出の「疫(免疫/疫苗)」を使わず「种」を加える形だが、割当上はこちらが自然。

1. vakcin / 疫苗 /

* 選定理由: ワクチンは中国語で「疫苗」が一般的かつ定着した用語。
* 学習コスト: 「疫」は既出(免疫など)。新たに「苗」を加えるが、初級漢字に近い。

1. venen / 毒 /

* 選定理由: 「毒」(poison)はシンプルで、日本語圏・中国語圏のどちらでも一目で“毒”を連想可。
* 学習コスト: 単字で画数少なく分かりやすい。

1. pest / 鼠疫 /

* 選定理由: ペスト=「鼠疫」が正式。特に「ネズミ(鼠)が媒介する疫病」の意が端的。
* 学習コスト: 2字だがどちらも画数は比較的少なく、疫は既出。

1. parazit / 寄生虫 /

* 選定理由: 「寄生虫」が最も分かりやすい定訳。
* 学習コスト: 3字になるが、それぞれ日本語圏・中国語圏でも認知度が高い語。

1. bacil / 杆菌 /

* 選定理由: 「バチルス(桿菌)」に対応する中国語として「杆菌」が標準表現。
* 学習コスト: 2文字。「菌」は下記(bakteri)でも使用。「杆」は比較的画数が少なく理解しやすい。

1. bakteri / 细菌 /

* 選定理由: バクテリア全般＝「细菌」が中国語での代表的な呼び方。
* 学習コスト: 2文字。「菌」は#21と共通なので学習コスト削減に寄与。

1. simptom / 症状 /

* 選定理由: 医学用語「症状」をそのまま採用。
* 学習コスト: 2文字だが、ともに病気関連で頻出。すでに偏旁「疒(病だれ)」の学習は他語と共通。

1. hospital / 医院 /

* 選定理由: 病院の意として中国語では「医院」が最も一般的。
* 学習コスト: 2文字で画数もほどほど。

1. pacient / 病人 /

* 選定理由: 患者＝「病人」で中国語としてわかりやすい。単字「患」は動詞/名詞的要素が混在し分かりにくいため2文字に。
* 学習コスト: 「病」は病気関連で繰り返し登場する常用字。「人」は非常に基本的。

apotek

* + 提案: 药店
  + 理由: 中国語で「薬局・薬店」を意味する一般的な表現。日本語圏でも「薬＋店」の組合せと分かりやすい。
  + 既出等: 「药」は「薬」(日本語)と同源で意味を類推しやすく、「店」も日本語の「店(みせ)」と同形。

1. medicin
   * 提案: 医学
   * 理由: 「医学」は、いわゆる“医学（学問としての医療）”を指す中国語表現。「医」一字でも医療関連と分かるが、学問として明確化するため「学」を付与。
   * 既出等: 今後「医」や「学」を他の医療・学問関連語にも流用できる。
2. farmaci
   * 提案: 药学
   * 理由: 「薬学」の意味に対応する標準的な中国語表現。
   * 既出等: 「药」は上記(1)や(2)とも関連、「学」も(2)「医学」と共通。
3. jalap
   * 提案: (未対応)
   * 理由: メキシコ原産の生薬「ヤラッパ」に相当する簡体字1文字・熟語は一般的に馴染みが薄く、適切な常用字の単独付与が困難。
   * 既出等: 特殊な薬草であり、無理に1～2文字で割り当てるより未対応のままとする。
4. narkot
   * 提案: 麻醉
   * 理由: 動詞的「麻酔する」「麻酔をかける」に相当する中国語表現として「麻醉」が一般的。
   * 既出等: 「麻」「醉」はやや画数が多いが、のちの「narkotik」でも共用可能。
5. narkotik
   * 提案: 麻醉药
   * 理由: 「麻酔薬」「麻薬」に近い意味合いの標準的表現。
   * 既出等: 「麻醉」は(5)と共通、「药」は他の単語でも再利用済み。
6. medikament
   * 提案: 药品
   * 理由: 「薬品／医薬品」を意味する簡体字表現。「医薬品」としても通じるが、より簡潔に「药品」。
   * 既出等: 「药」は既出、「品」は新出だが今後他の語彙(食品/用品 など)にも転用可。
7. drog
   * 提案: 药
   * 理由: 一般的な「薬／ドラッグ」の意。「药」1文字で薬物を示すには十分。
   * 既出等: 最も基本的な「薬」概念として「药」を再利用。
8. pilol
   * 提案: 丸
   * 理由: 「丸薬」「丸剤」を連想できるシンプルな字。中国語でも「药丸(丸薬)」の略イメージで通じる。
   * 既出等: 新出だが画数が少なく、日本語でも「丸(まる)」の字形で馴染みあり。
9. plastr
   * 提案: 膏药
   * 理由: 中国では、漢方系の“塗るタイプの膏薬”を「膏药」と呼ぶのが一般的。
   * 既出等: 「药」は既出。新しく「膏」を使うが、医療文脈では分かりやすい。
10. homeopati
    * 提案: (未対応)
    * 理由: 「顺势疗法(同種療法)」に対応するには複数文字(顺/势/疗/法 など)が必要で画数も増えるため、単独1字・2字化が難しい。
    * 既出等: すでに簡潔な表現が難しく、学習コスト削減を優先し未対応とする。
11. homeopat
    * 提案: (未対応)
    * 理由: 「同種療法医師」などを簡体字1～2文字で表すのはさらに困難。
    * 既出等: 同上。
12. hidroterapi
    * 提案: 水疗
    * 理由: 「水治療法」の中国語では「水疗」(やや略式)・「水疗法」(正式)など。2文字で簡潔に表すなら「水疗」。
    * 既出等: 「水」は初出だが画数が少なく汎用性が高い。「疗」は(11)などで言及(未対応)しているが、今後も“治療”文脈で使う可能性あり。
13. kurac
    * 提案: 治
    * 理由: 「治療」「治す」などの核心義を1文字に集約。動詞的ニュアンスにも対応可能。
    * 既出等: 新出だが、日中両言語で「治療」「治す」といえば即座に意味が連想しやすい。
14. terapi
    * 提案: 疗
    * 理由: 「治療」「療法」を象徴する1字。「治疗(治療)」全体を省略して「疗」にフォーカスする方法。
    * 既出等: (13)の「水疗」と同じ「疗」。
15. klinik
    * 提案: 临床
    * 理由: 中国語で「臨床(学)」「臨床的」を指す代表的な2文字。
    * 既出等: 「临」「床」ともに新出だが、医学文脈で頻出語のため妥当。
16. kirurg
    * 提案: 外科医
    * 理由: 「外科」を示す「外科」と医師の「医」を組合せると最も標準的。「外医」では通じない。
    * 既出等: 「医」は(2)など既出。「外」「科」は新しいが、外科学/外科手術などにも転用しやすい。
17. ĥirurg
    * 提案: 外科医
    * 理由: 意味としては(17)と同一。「ĥ」は本来エスペラント特有の発音だが、同義語なので割当は同じでよい。
    * 既出等: 同上。
18. kirurgi
    * 提案: 外科学
    * 理由: 「外科の学問」に該当。中国語でも「外科学」あるいは「外科(学)」と呼ぶ。
    * 既出等: 「外」「科」「学」すべて既出文字の組み合わせ。
19. ĥirurgi
    * 提案: 外科学
    * 理由: (19)と同様。
    * 既出等: (19)と同じ。
20. operaci
    * 提案: 手术
    * 理由: 医療文脈でいう「手術」。非常に標準的かつ簡潔な2文字。
    * 既出等: 「手」「术」は新出だが、医療領域で頻用される。
21. amput
    * 提案: 切断
    * 理由: 「(手足などを)切断する」。中国語での動詞「切断」は日本語でも意味を推測しやすい。
    * 既出等: 「切」「断」は新出だが、いずれもシンプルな意味で汎用性がある。
22. injekt
    * 提案: 注射
    * 理由: 医療行為としての「注射」。中国語でも同じ表記で伝わる。
    * 既出等: 「注」「射」は新出ながら、ともに基礎的な漢字。
23. klister
    * 提案: 灌肠
    * 理由: 「(医療用)浣腸」を中国語で一般に「灌肠」と呼ぶ。
    * 既出等: 「灌」「肠」はともに新出だが、専門用途が多い語。
24. zuav
    * 提案: (未対応)
    * 理由: 「アルジェリア歩兵(Zouave)」を1～2文字で表す適切な漢字表現はなく、中国語でも外来語的に転写(例: 祖阿夫)が必要。学習コストが高いため未対応。
    * 既出等: 軍事用語で特殊、スキップ。

### 1. sieĝ

swift

Copy

sieĝ/围/「包囲」「囲む」の意。簡体字「围」は日本語の「囲」と対応し、両言語圏で連想しやすい。/他の「軍事」系漢字とは異なる囲む系語として区別しやすい

* 提案字: 「围」(= 囲)
* 選定理由: 「sieĝ」は“城などを包囲する(攻囲する)”の意で、中国語「围城」にも通じる。「围」1字で「囲む」「取り囲む」のニュアンスが表せる。
* 学習コスト: 画数7画と比較的少なく、日本語圏でも「囲」の簡体字と分かりやすい。

### 2. embusk

swift

Copy

embusk/伏/「伏せる」「待ち伏せする」の意を含む。中国語「伏击」の略イメージとして利用。/重複利用もしやすい偏旁(人偏)を含む

* 提案字: 「伏」
* 選定理由: 中国語では「伏击(待ち伏せ)」が標準だが、単に「伏」でも「身を伏せる」「潜む」という含意があり、待ち伏せのイメージに近い。
* 学習コスト: 6画と少なく、「人偏+犬(又)」の組み合わせで比較的覚えやすい。

### 3. arm##

* 末尾に「#」が付されており「語根ではない」ため割当を行わない(スキップ)。

### 4. arm

swift

Copy

arm/武/武器や武装の概念を1字で簡潔に表す。/軍事関連での使用頻度が高い「武」を再利用する可能性あり

* 提案字: 「武」
* 選定理由: 「武」は「武装」「武器」「武力」など、軍事的ニュアンスを広くカバー。日本語でも「武」の字は馴染みがある。
* 学習コスト: 8画。今後も軍事関連で再利用されうる偏旁・字形。

### 5. mobiliz

swift

Copy

mobiliz/动员/「動員する」の中国語標準表現。1文字での厳密な対応は難しいため2文字熟語。/「动」(動)は他用途にも広く使われる

* 提案字(熟語): 「动员」
* 選定理由: 中国語で「動員する」は「动员」が定訳。「动」1字だと「動く」程度の意味に留まり曖昧なので、あえて2文字で正確に示す。
* 学習コスト: 「动」は6画、「员」は7画。いずれも頻用字であり習得コストは比較的低い。

### 6. rekrut

swift

Copy

rekrut/募/「募集する」「新兵を募る」の意。/「募集」「募兵」に通じ、他の軍事関連語とも結びつけやすい

* 提案字: 「募」
* 選定理由: 中国語で「招募」「征募」など「募」が「新兵を募る」に対応。単に「招」だと「招く」「誘う」の意味合いが強いため「募」が適切。
* 学習コスト: 12画とやや多いが、「莫+力」の組み合わせで比較的意味も推測しやすい。

### 7. kanon

swift

Copy

kanon/炮/大砲(キャノン砲)の意。簡体字では「炮」が一般的。/後続の「artileri」などとも合わせて再利用を想定

* 提案字: 「炮」
* 選定理由: 中国語で「大炮」「火炮」など「砲」を含む語は「炮」で表記（日本語「砲」の簡体字）。
* 学習コスト: 9画。左に「火」、右に「包」という構成で、比較的覚えやすい。

### 8. munici

swift

Copy

munici/弹/弾薬をイメージして「弹」を使用。「弹药」=弾薬に近い。/「爆発物系」を「弹」で統一する手もあり学習コスト低減

* 提案字: 「弹」
* 選定理由: 中国語で「子弹(弾丸)」「弹药(弾薬)」など、「弹」が広く「弾(タマ)」を表す。単独で弾薬全般を指すには若干広義だが、簡潔。
* 学習コスト: 11画。「弹」は日本語「弾」の簡体字であり認識しやすい。

### 9. artileri

swift

Copy

artileri/炮/砲兵隊(artillery)全般も「炮」に集約して再利用。/先の「kanon」と同字を割り当てし、漢字の種類を節約

* 提案字: 「炮」(※「kanon」と同一)
* 選定理由: 砲兵隊の意も「炮兵」という単語で表すが、単独字でまとめるなら「炮」。同じ字に「砲(大砲)」「砲兵隊」を担わせることで重複を回避。
* 学習コスト: 既出のため追加負担なし。

### 10. grenad

swift

Copy

grenad/雷/手榴弾(grenade)の「雷」要素を強調。/「地雷」「手雷」など中国語で爆発物に「雷」が多用される

* 提案字: 「雷」
* 選定理由: 中国語の「手雷(手榴弾)」「地雷(地中に仕掛ける爆弾)」など、爆発系武器で「雷」が広く使われる。
* 学習コスト: 13画とやや多いが、日本語圏でも「雷(かみなり)」と認識しやすい。

### 11. torped

swift

Copy

torped/鱼雷/「魚雷」の標準表記。1文字では難しいため「鱼雷」に。/「雷」は既出、魚を表す「鱼」を新規追加

* 提案字(熟語): 「鱼雷」
* 選定理由: 中国語で「鱼雷」が定訳。「雷」は既にgrenad(手榴弾系)と共通し、そこに「鱼(魚)」を付して明確に水中兵器(魚雷)を示す。
* 学習コスト: 「鱼」は8画、既出の「雷」は13画だが重複利用。合計2文字でも比較的シンプル。

### 12. salv

swift

Copy

salv/齐射/一斉射撃を中国語では「齐射」(同時射撃)が定訳。/「齐」は「一斉」「整然と揃う」の意

* 提案字(熟語): 「齐射」
* 選定理由: 中国語で「salvo(一斉射撃)」は「齐射」「齐发」など。「齐」1字だと「揃う」意味のみなので、射撃の「射」を付けて正確に。
* 学習コスト: 「齐」は6画、「射」は10画。ともに基本的な部首・構成で覚えやすい。

### 13. halebard

swift

Copy

halebard/戟/ホコ(矛+戈が組合わさった武器)の意。/歴史的にも「戟」は「矛・戈」と並ぶ長柄武器を指す

* 提案字: 「戟」
* 選定理由: 中国語では「戟」(halberdの総称的武器)。日本語でも「戟(ほこ)」として存在し、両言語圏で理解可能。
* 学習コスト: 12画とやや多めだが、古代兵器を象徴する字として直感的に把握されやすい。

### 14. afust

swift

Copy

afust/炮架/砲架(砲の台座)の意。/既出「炮」+新規「架」の組合せで分かりやすい

* 提案字(熟語): 「炮架」
* 選定理由: 中国語で「炮架」は砲を据えるための「架(台)」。1文字では対応困難につき「炮」と「架」を組み合わせる。
* 学習コスト: 「炮」は既出、新規「架」は9画で比較的シンプル。

### 15. kazemat

swift

Copy

kazemat/炮台/砲郭・砲座・堡塁などに近い概念として「炮台」。/簡体字で「砲台」は「炮台」が一般的

* 提案字(熟語): 「炮台」
* 選定理由: 「casemate(砲郭)」に完全一致する単語はやや専門的だが、中国語で「炮台」(砲台、砲の据え付け場所)が近い。
* 学習コスト: 「炮」は既出、「台」は5画で覚えやすい。

### 16. piked

swift

Copy

piked/哨/哨兵・哨戒などの意味から単独で「哨」。/「哨所」「哨兵」は軍の小哨・見張り役を指す

* 提案字: 「哨」
* 選定理由: 中国語「哨兵」「哨所」は「警戒・見張り」「小哨」を表す。単に「哨」でも「見張り」「哨戒」を連想可能。
* 学習コスト: 9画。「口」と「肖」の組合せで比較的把握しやすい。

### 17. ponton

swift

Copy

ponton/浮桥/平底船を渡し橋とした「浮橋」の意。/「舟」1字では曖昧なため2字熟語「浮桥」が妥当

* 提案字(熟語): 「浮桥」
* 選定理由: 中国語の「pontoon bridge」は通常「浮桥」。1文字では表しにくく、2文字で正確に指示。
* 学習コスト: 「浮」は10画、「桥」は10画(「橋」の簡体字)。常用偏旁「氵」「木」などで学習もしやすい。

### 18. eskadr

swift

Copy

eskadr/舰队/軍艦などから成る艦隊の意。/「舰」は「艦」の簡体字、「队」は既出活用しやすい

* 提案字(熟語): 「舰队」
* 選定理由: 海軍や大規模な艦の集まりは中国語で「舰队」。
* 学習コスト: 「舰」は10画だが、「门(もんがまえ)＋舟」の分かりやすい組み立て。「队」は既出(4画)。

### 19. admiralitat

swift

Copy

admiralitat/海军部/海軍本部や海軍省に相当する語。/海軍(海军)＋部(政府部門)で表す

* 提案字(熟語): 「海军部」
* 選定理由: 中国語で海軍に関する中枢組織は「海军部」「海军本部」等が用いられる。やや長いが意義が明確。
* 学習コスト: 「海」(9画)、「军」(6画)、「部」(10画)。いずれも軍事・行政などで出やすい常用字。

### 20. gvardi

swift

Copy

gvardi/卫队/親衛隊・護衛部隊の意に近く、中国語で「衛隊」にあたる。/既出「队」を活かして字数を抑える

* 提案字(熟語): 「卫队」
* 選定理由: 中国語の「卫队」は警護・護衛を担う部隊(親衛隊的性格)を指し得る。「近卫军」等もあるが、なるべく2文字に簡略化。
* 学習コスト: 「卫」は3画で「守る・護る」の意。「队」は既出(「队」=隊)。

### 21. divizi

swift

Copy

divizi/师/軍の「師団」に相当。中国語では「第○师」と呼ぶ。/最小限1字で伝わるため学習コストも低い

* 提案字: 「师」
* 選定理由: 中国語で軍事区分の「division(師団)」は通常「师」で表す(例: 第38师)。
* 学習コスト: 6画で比較的少なく、「師団」の「師」の簡体字版として日本語話者にも理解しやすい。

### 22. kazern

swift

Copy

kazern/营/兵営(軍隊の宿営地)の意。/「营房」「营地」などに通じる

* 提案字: 「营」
* 選定理由: 中国語で「营」には「兵営」「営地」など「軍キャンプ(バラック)」の意味がある。
* 学習コスト: 11画だが、「营」は軍事用語でも常用され、発音・字形も広範に使われる。

### 23. infanteri

swift

Copy

infanteri/步兵/歩兵隊の意。/「步」は「歩く」、「兵」は「兵士」

* 提案字(熟語): 「步兵」
* 選定理由: 中国語で「歩兵」は「步兵」。「兵」だけでは兵士全般、歩兵と限らないため2文字で正確に。
* 学習コスト: 「步」(7画)＋「兵」(7画)。どちらも軍事系でよく出る単語。

### 24. skadr

swift

Copy

skadr/骑兵中队/騎兵の中隊(小規模部隊)を示す。/「騎兵+中隊」を組み合わせて正確に表現

* 提案字(熟語): 「骑兵中队」
* 選定理由: エスペラントの定義が「騎兵中隊」(騎兵隊の一部隊)なので、中国語で「骑兵中队」がもっとも対応が近い。
* 学習コスト: 「骑」(9画)は新規、「兵」既出、「中」(4画)は新規、「队」既出。4文字だが意味ははっきり伝わる。

### 25. kavaleri

swift

Copy

kavaleri/骑兵/騎兵隊(総称)。「skadr」より上位概念。/先の用語「骑兵中队」と連動し、「骑兵」を単独使用

* 提案字(熟語): 「骑兵」
* 選定理由: 中国語で「騎兵」は「骑兵」。すでに(24)と重複する部分だが「騎兵隊」全般の呼称として使える。
* 学習コスト: 「骑」(9画)＋「兵」(7画)で、うち「兵」は再利用。「骑」も(24)で既出想定。

brigad / 旅 / 中国語において「旅」は軍編制単位の「旅(旅团)＝旅団」を指す場合があり、比較的対応しやすい / 日本語「旅団」の「旅」に相当すると考えると覚えやすい

1. regiment / 团 / 中国軍で「団(团)」が連隊に当たるため、最も直接的 / 既出の「軍団」(軍+団)等とも「団」を共有できる
2. batalion / 营 / 中国語では大隊を「营」と呼ぶため、これが最も自然 / 新規漢字だが軍用語セットとして覚えやすい
3. legi / 军团 / 「legion＝軍団」に対応する標準的な訳語が「军团」 / 2文字になるが、軍(军)も団(团)も既出のため新規偏旁は少ない
4. arme / 军 / 「軍隊」の意を直接表す最短の1文字 / 画数も少なく、軍事関連でたびたび再利用できる
5. korpus / 军团 / 「(軍の)corps＝軍団」を示す標準訳も「军团」 / #4 (legi) と同じ熟語を割り当て、重複利用による学習コスト低減
6. aviad / 航 / 「aviation＝航空」をイメージしやすい単漢字として「航」を採用 / 厳密には「航」は航海・航行全般だが、航空分野でも「航空(航 + 空)」で使われる
7. aviad/il / 航机 / 単独1文字では対応困難なため「航空(aviad) + 機械(機)」を合わせた造語的表現 / 既出の「航」を再利用し、「机」は後述の飛行機関連でも登場
8. aeroplan / 飞机 / 中国語で「飛行機」は「飞机」が定着しているため最も自然 / 「飞」も「机」も後述で再使用可
9. flug / 飞 / 「飛ぶ」の動詞イメージには、中国語の「飞」(飛の簡体字)が最短かつ直感的 / 「飞机」(#9) との関連で「飞」を共有
10. pilot / 机师 / 中国語圏で「パイロット」を指す簡短表現の一例に「机师」(機 + 師)がある(※地域差あり) / 「机」は既出、新規は「师」(師)のみ
11. fregat / 军舰 / 本来「护卫舰(フリゲート)」が正確だが字数を抑えて「軍艦」＝「军舰」とした / 「军」は既出、新規は「舰」
12. paraŝut / 降落伞 / 中国語で「パラシュート」は「降落伞」が標準 / 3文字だがいずれも常用字であり、やむを得ず熟語を採用
13. helikopter / 直升机 / 中国語で「ヘリコプター」は「直升机」が一般的 / 「机」は既出、新規は「直」「升」
14. ambulanc / 救护车 / 中国語で「救急車」は「救护车」 / 新規3字だがこれも一般的な言い方
15. kurier / 使 / 「急使」「特使」「使者」などの意味をシンプルに1文字化するには「使」が最短 / 日本語の「〜使」にも通じ、分かりやすい
16. ekspres / 快 / 「急行」「特急」「速達」など“速い”ニュアンスを最も短く示すなら「快」 / 1文字で「素早い」イメージを共有しやすい
17. aren / 场 / 「闘技場」(arena) は「竞技场」「场地」等があるが、最小限なら「场」(場所・会場)で代用 / 既来の熟語とも組み合わせ可
18. hipodrom / 马场 / 「競馬場」は「马场」が直訳に近い / #18「场」を再利用し、新規は「马」(馬の簡体字)のみ
19. cirk / 马戏团 / サーカスは「马戏团」が一般的 / #19 の「马」と #2 の「团」を流用、新規は「戏」のみ
20. amfiteatr / 圆形剧场 / 中国語で円形競技場や円形劇場は「圆形剧场」が標準 / 「场」は再利用、新規は「圆」「形」「剧」
21. gimnast / 体操 / 体操競技・体操選手・教師いずれも「体操」でほぼ通じる / 2文字熟語で覚えやすい
22. sport / 运动 / 中国語の「スポーツ」にあたる最も一般的な語は「运动」 / 2文字だがいずれも頻出
23. atlet / 运动员 / 「運動選手」は「运动员」で表す / #23「运动」を流用し、新規の「员」のみ追加
24. turnir / 赛 / 「トーナメント」「試合」「大会」などのニュアンスで、中国語の「比赛(赛)」を縮約して1文字「赛」 / 簡潔に「競技・試合」のイメージを示す

### 1) konkurenc

nginx

Copy

konkurenc / 竞 / 「競争・競う」の意を持つ簡体字。ビジネス競争を含む広義の「競争」の意味合いで流用 /

同根（konkur, konkurs）との使い分けはサブスクリプト等で区別し、学習コストを抑える

* 選定理由: 日本語「競」(繁体字「競」)の簡体形で、中国語では「竞争」「竞赛」などに使われる。「商競」など2文字にすると新たな漢字を増やすため、あえて1文字で統合。
* 学習コスト: 「竞」1文字に集約することで他の“競う”系語根(konkur, konkurs)とも重複利用が可能になり、漢字の種類を抑えられる。

### 2) konkur

nginx

Copy

konkur / 竞 / 「競う」の語義に同じ /

konkurenc, konkursと同じ字を流用し、上付き文字等で区別想定

* 選定理由: 上記(konkurenc)と同様。「競う・競争する」の核心イメージにぴったり。
* 学習コスト: 既出の「竞」を再利用。

### 3) konkurs

nginx

Copy

konkurs / 竞 / 競技・競争・コンテストの意をまとめて /

konkur, konkurencと同字。必要に応じて補区分

* 選定理由: “コンテスト”含む競争概念は「竞」で大まかにカバーできる。
* 学習コスト: 競争関連の3語根をすべて「竞」にまとめることで新漢字を増やさない。

### 4) ski

nginx

Copy

ski / 雪 / スキー=「雪上を滑る」イメージから /

後述のsled(=雪橇)と同じ「雪」を活用し学習コストを抑制

* 選定理由: 本来は「滑雪」(2文字)が正確だが、1文字に絞るため「雪」に簡略化。
* 学習コスト: 同じ「雪」をsled(雪橇)で部分再利用する。

### 5) sabr

nginx

Copy

sabr / 刀 / サーベルは片刃の刀剣という点から /

画数2画と少なく、日本語・中国語双方に馴染みがある

* 選定理由: 中国語の「刀」は一般的に刃物全般や「片刃の短い剣」を指し得る。
* 学習コスト: 非常に画数が少なく覚えやすい。

### 6) sled

nginx

Copy

sled / 雪橇 / そり=「雪上の乗り物」として標準的な中国語 /

skiで使った「雪」を再利用しつつ「橇」を追加

* 選定理由: 中国語の定訳が「雪橇」。一文字では表しづらいため熟語に。
* 学習コスト: 「雪」は既出。新規追加は「橇」のみ。

### 7) sel

nginx

Copy

sel / 鞍 / 馬具としての「鞍」 /

日本語・中国語ともに同形（簡体も「鞍」）

* 選定理由: 「鞍」の字はサドル(鞍)そのものを表す。
* 学習コスト: 新規漢字だが他に代用しづらいのでやむを得ず採用。

### 8) bilard

nginx

Copy

bilard / 台球 / ビリヤードの中国語名 /

「台」+「球」の2字熟語

* 選定理由: 一般的な中国語表記。単一字ではビリヤードを表せない。
* 学習コスト: 「球」は他の球技にも転用可能で汎用性がある。「台」も比較的よく使う。

### 9) polk

nginx

Copy

polk / 波卡 / ポルカをカナ音訳的に簡略化 /

標準的には「波尔卡」だが、1文字でも正確表現も難しく2文字で妥協

* 選定理由: 中国語で「波尔卡」と表記するが、簡略化して2文字に抑えた。
* 学習コスト: 新たに「波」「卡」を追加。どちらも他用途の多い字（例:「波」=波動など）。

### 10) parodi

nginx

Copy

parodi / 戏仿 / 「パロディ=戯れて模倣する」意 /

中国語で「戏仿」と言う

* 選定理由: 標準的には「戏仿」や「恶搞」等が近いが、やや丁寧な「戏仿」を採用。
* 学習コスト: 2文字熟語だが、演劇的ニュアンス「戏」は他でも使う可能性あり。

### 11) burlesk

nginx

Copy

burlesk / 滑稽 / 「こっけい・ばかばかしさ」の意味合い /

中国語「滑稽」はコミカル・戯画的要素を指す

* 選定理由: 「道化・滑稽」の意を最も端的に表す熟語として定着している。
* 学習コスト: 「滑」は初出(ただし「ski」で「雪」を使った関係上ここで登場)、「稽」は新字。

### 12) barikad

nginx

Copy

barikad / 街垒 / バリケード=市街で組まれる「垒(とりで)」 /

中国語で歴史的に使われる表現

* 選定理由: 「路障」(道路障害)でも近いが、「街垒」はバリケードに近いニュアンス。
* 学習コスト: 「街」「垒」いずれも初登場。やや画数が多いが妥協。

### 13) lice

nginx

Copy

lice / 中学 / フランスのリセ=中等教育機関のイメージで /

「中学」で便宜的に集約

* 選定理由: リセは日本で言う高校に近いが、中国語圏の区分だと「中学」含意で妥協。
* 学習コスト: 「中」は新規だが画数4画と少なく、「学」は後述で再利用多数。

### 14) gimnazi

nginx

Copy

gimnazi / 高中 / ドイツ系ギムナジウム=上級中等学校 /

lice(リセ)との差別化で「高中」

* 選定理由: 中国語の「高中」(高校)が最も近い区分。
* 学習コスト: 「高」(10画)は初出だが、「中」はliceで使用済み。

### 15) skol

nginx

Copy

skol / 学派 / 思想・学問上の「流派」「学派」 /

中国語でも「学派」が最も通じる

* 選定理由: 学問的流派(=school of thought)は「学派」。1文字「派」だけでは意が曖昧なので2文字に。
* 学習コスト: 「学」は再利用。新規は「派」のみ(9画)。

### 16) fakultat

nginx

Copy

fakultat / 系 / 大学の学部=「系」(department)が最も近い /

「学院」「院系」だと2文字になるので単字化

* 選定理由: 中国語では「系」が学部・学科を指すことも多い。
* 学習コスト: 7画のシンプルな新字。

### 17) student

nginx

Copy

student / 学生 / 高等教育の在学生 /

中国語・日本語ともに同表記

* 選定理由: 最も一般的で直感的な「学生」。
* 学習コスト: 「学」は既出。新規は「生」(5画)。

### 18) universitat

nginx

Copy

universitat / 大学 / 総合大学 /

中国語・日本語ともに「大学」

* 選定理由: もっとも標準的な高等教育機関の呼称。
* 学習コスト: 「学」は既出、新規は「大」(3画)のみ。

### 19) kolegi

nginx

Copy

kolegi / 学院 / 大学内の独立カレッジ、または単科大学に相当 /

専科学校的な意味合いにも対応

* 選定理由: 中国語の「学院」はcollege・institute的に用いられる。
* 学習コスト: 「学」は既出、新規「院」(10画)。

### 20) akademi

nginx

Copy

akademi / 学院 / アカデミー=研究院・学士院的ニュアンスも含め /

kolegiと同じ熟語に集約し、区別はサブスクリプト等で

* 選定理由: 中国語で「学院／研究院」などが近いが、一括して「学院」に統合。
* 学習コスト: kolegiと同字再利用。

### 21) temperatur

nginx

Copy

temperatur / 温度 / 「温度」を表す標準的2文字熟語 /

1文字「度」でも曖昧なため2文字採用

* 選定理由: 中国語で「温度」が最も一般的・直感的。
* 学習コスト: 新規「温」(12画)と「度」(9画)を追加。

### 22) termometr

nginx

Copy

termometr / 温度计 / 温度を測る計器 /

「温度」＋「计」(計器)

* 選定理由: 中国語では「温度计」が代表的な「温度計」表現。
* 学習コスト: 「温」「度」は既出、追加は「计」(4画)のみ。

### 23) hejt

nginx

Copy

hejt / 热 / (～を)熱する・暖房する /

簡体字「热」単独で「熱する・加熱」の意味合いをカバー

* 選定理由: 本来「加热」が動詞的だが、画数・重複考慮で「热」を流用。
* 学習コスト: 新規文字「热」(10画)。

### 24) varm

nginx

Copy

varm / 热 / 暑い・暖かい /

hejtと同じく「热」に集約

* 選定理由: 「暖」「热」など近い概念が多いため、一文字にまとめ学習コストを低減。
* 学習コスト: 既にhejtで使用済み。

### 25) ard

nginx

Copy

ard / 炎 / 白熱・灼熱・情熱的 /

「炎」は燃え立つイメージが強く“ardent”に近い

* 選定理由: 「热」でまとめる手もあるが、より強烈な熱感を示すため別字「炎」。
* 学習コスト: 新規追加(8画)。ただし比較的簡単かつ日本語でも通用。

topograf / 地形 /

* + 選定理由: 「地」は大地・土地、「形」は形状を表し、地形(topography)を連想しやすい。
  + 既出・学習コスト: 「地」は後述する地質・地理でも再利用。「形」は初出だが比較的画数が少なめ(7画)。

1. geolog / 地质 /
   * 選定理由: 中国語で「地质」は「地質(学)」を意味し、そのまま地質学を想起。
   * 既出・学習コスト: 「地」は既出。「质」は新規(8画)だが、日本語「質」とほぼ同形で意味も掴みやすい。
2. geograf / 地理 /
   * 選定理由: 「地理(学)」として広く通用。
   * 既出・学習コスト: 「地」は既出。「理」は新規(11画)だが、後に「生理」などにも流用予定。
3. paleograf / 古文 /
   * 選定理由: 古文書学(palaeography)のイメージに近い。「古」は古いもの全般、「文」は文字・文章。
   * 既出・学習コスト: 「古」はこれ以降の古生物学などでも使える可能性あり。「文」は他の文献学などにも使いやすい。
4. paleontolog / 古生物 /
   * 選定理由: 古生物学(palaeontology)の標準的略称。「古」「生」「物」で「古い生物」を直接表せる。
   * 既出・学習コスト: 「古」は上記と共通。「生」「物」は今後の「生物」「動物」などにも再利用。
5. grafolog / 字迹 /
   * 選定理由: 筆跡(handwriting) → 文字(字)の跡(迹)という連想で「字迹」。実際の中国語でも「字迹」は「文字の跡」「筆跡」を意味する。
   * 既出・学習コスト: 「字」は初出(6画)・「迹」(9画)は初出だが、「字」は今後も用いる可能性が高い。
6. etnograf / 民族 /
   * 選定理由: 民族誌(ethnography) → 直訳的に「民族」の研究。
   * 既出・学習コスト: 「民」「族」いずれも初出だが、日本語にも「民族」という熟語があり意味はつかみやすい。
7. genealog / 家谱 /
   * 選定理由: 系譜学(genealogy) → 中国語で「家谱(家譜)」は「一族の系譜」を意味し、連想しやすい。
   * 既出・学習コスト: 「家」は画数10画だが馴染みやすい。「谱」(日本語の「譜」の簡体字)は初出(13画)だが、系図・譜面などの共通概念。
8. biograf / 传记 /
   * 選定理由: 伝記(biography) → 中国語で「传记(伝記)」が対応。
   * 既出・学習コスト: 「传」(日本語の「伝」の簡体字, 6画)・「记」(日本語の「記」の簡体字, 5画)。どちらも今後多用可能。
9. filolog / 文献 /

* 選定理由: 文献学(philology) → 漢字圏で「文献」を思い浮かべやすい。
* 既出・学習コスト: 「文」は既出(古文)。「献」は新規だが日本語にも「献」があり、意味が推測しやすい。

1. bibliograf / 书目 /

* 選定理由: 書誌学(bibliography) → 中国語で「书目(書目)」は「書籍の目録」を意味し妥当。
* 既出・学習コスト: 「书」(4画)は新規(日本語の「書」の簡体字)。「目」は画数少なく、日本人にも馴染み深い。

1. veterinar / 兽医 /

* 選定理由: 獣医(veterinarian) → 中国語「兽医」そのまま。
* 既出・学習コスト: 「兽」(日本語の「獣」の簡体字, 8画)は初出。「医」は6画で後に「病理」「病因」と併用可(同じ“医療”領域)。

1. entomolog / 昆虫 /

* 選定理由: 昆虫学(entomology) → 中国語でも「昆虫」。
* 既出・学習コスト: 「昆」(8画)・「虫」(6画)はいずれも新規だが、日本語にも「昆虫」という熟語があるため覚えやすい。

1. ornitolog / 鸟类 /

* 選定理由: 鳥類学(ornithology) → 中国語で「鸟类」(鳥類)が連想しやすい。
* 既出・学習コスト: 「鸟」(日本語「鳥」の簡体字, 5画)・「类」(日本語「類」の簡体字, 9画)。今後「人类(人類)」などにも応用可能。

1. zoolog / 动物 /

* 選定理由: 動物学(zoology) → 中国語で「动物」。
* 既出・学習コスト: 「动」(日本語「動」の簡体字, 6画)・「物」(8画)はいずれも他の生物関連でも再利用しやすい。

1. biolog / 生物 /

* 選定理由: 生物学(biology) → 中国語で「生物」。
* 既出・学習コスト: 「生」は既出(古生物)、「物」も既出(动物)なので追加学習コストは低め。

1. fiziolog / 生理 /

* 選定理由: 生理学(physiology) → 中国語でも「生理」。
* 既出・学習コスト: 「生」は既出、「理」も地理などですでに登場。

1. anatom / 解剖 /

* 選定理由: 解剖学(anatomy) → 中国語で「解剖」。
* 既出・学習コスト: 「解」(13画)、「剖」(10画)はいずれも初出。やや画数多めだが専門用語ゆえ致し方ない。

1. etiolog / 病因 /

* 選定理由: 病因学(aetiology) → 中国語でも「病因」は「病気の原因」を指す。
* 既出・学習コスト: 「病」(10画)は次の病理でも再利用。「因」(6画)は短く覚えやすい。

1. patolog / 病理 /

* 選定理由: 病理学(pathology) → 中国語でも「病理」。
* 既出・学習コスト: 「病」は既出、「理」も既出のため追加負担は少ない。

1. astrolog / 占星 /

* 選定理由: 占星術(astrology) → 中国語で「占星」はそのまま「占星術」を指す。
* 既出・学習コスト: 「占」(5画)は初出。「星」(9画)は天文分野で再利用可能。

1. astronom / 天文 /

* 選定理由: 天文学(astronomy) → 中国語の「天文」。
* 既出・学習コスト: 「天」は2画(非常に少ない)、「文」は既出(古文・文献など)。

1. retor / 修辞 /

* 選定理由: 修辞学(rhetoric) → 中国語「修辞」。
* 既出・学習コスト: 「修」(9画)・「辞」(13画)はいずれも初出だが、日本語にも「修辞」という熟語があるため意味が推測しやすい。

1. teokrat / 神权 /

* 選定理由: 神権政治(theocracy) → 中国語では「神权(神権)」で連想しやすい。
* 既出・学習コスト: 「神」(9画)は次の「有神論」でも再利用。「权」は日本語「権」の簡体字(6画)。

1. teist / 神 /

* 選定理由: 有神論者(theist) → 核となる「神」の概念を直接表した。
* 既出・学習コスト: 「神」は上記(神权)で既出。単字で印象も強い。

teolog / 神学家 /  
　- 選定理由: 「神学(神学)＋家」で「神学者」を示す標準的な中国語表現。  
　- 学習コスト: 「神」「学」「家」は今後も学問・学者の表現に頻出するため、使い回しが可能。

* mineralog / 矿物学家 /  
  　- 選定理由: 「矿物学(鉱物学)＋家」で「鉱物学者」の標準的な中国語表現。  
  　- 学習コスト: 「矿」「物」「学」「家」はいずれも他分野でも頻出・共有されやすい。
* metalurgi / 冶金学 /  
  　- 選定理由: 中国語で「冶金学」は冶金術・冶金学を表す標準用語。  
  　- 学習コスト: 「冶」「金」「学」は、金属関連や他の「学」分野で出る可能性があり再利用可。
* mineralogi / 矿物学 /  
  　- 選定理由: 「矿物学」は鉱物学を指す最も一般的な簡体字名称。  
  　- 学習コスト: すでに (2) で「矿」「物」「学」は出現済み。
* numismat / 钱币学家 /  
  　- 選定理由: 「钱币学(古銭学)＋家」で「古銭学者」を意味する中国語表現。  
  　- 学習コスト: 「钱」「币」「学」「家」は、それぞれ比較的画数も少なく再利用しやすい。
* numismatik / 钱币学 /  
  　- 選定理由: 「钱币学」は古銭学・貨幣学の標準的表記。  
  　- 学習コスト: (5) と同じ要素「钱」「币」「学」を使っている。
* paleografi / 古文字学 /  
  　- 選定理由: 古文書学・古文字研究を指す場合、中国語では「古文字学」が一般的。  
  　- 学習コスト: 「古」「文」「字」「学」で構成され、いずれも汎用度が高い。
* paleontologi / 古生物学 /  
  　- 選定理由: 古生物学は「古生物学」が定訳。  
  　- 学習コスト: 「古」「生」「物」「学」は既出・再利用可能。
* arkeologi / 考古学 /  
  　- 選定理由: 考古学は「考古学」が最も標準的な表現。  
  　- 学習コスト: 「考」「古」「学」で構成され、他分野でも使い回し可。
* arĥeologi / 考古学 /  
  　- 選定理由: 上記 (9) と同義。エスペラントで arkeologi と arĥeologi が併存しても、中国語の標準訳は同じ。  
  　- 学習コスト: 同上。
* arkeolog / 考古学家 /  
  　- 選定理由: 考古学者は「考古学＋家」で表されるのが通例。  
  　- 学習コスト: 「考」「古」「学」「家」の組み合わせは再利用性が高い。
* arĥeolog / 考古学家 /  
  　- 選定理由: (11) と同じく、考古学者を表す標準語。  
  　- 学習コスト: 同上。
* psikologi / 心理学 /  
  　- 選定理由: 心理学を意味する一般的な中国語表記。  
  　- 学習コスト: 「心」「理」「学」は画数少なめで覚えやすい。
* psikolog / 心理学家 /  
  　- 選定理由: 心理学者は「心理学＋家」。  
  　- 学習コスト: 「心」「理」「学」「家」は既出要素が多く、省エネ。
* antropolog / 人类学家 /  
  　- 選定理由: 人類学者の標準表現は「人类学＋家」。  
  　- 学習コスト: 「人」「类」「学」「家」はそれぞれ基礎的な字。
* antropologi / 人类学 /  
  　- 選定理由: 人類学を示すのに「人类学」が一般的。  
    - 学習コスト: (15) と同じ要素からなる。
* vivisekci / 活体解剖 /  
  　- 選定理由: 生体解剖を指す際、現代中国語では「活体解剖」が広く通用する。  
  　- 学習コスト: 「活」「体」「解」「剖」は多少画数があるが、医学分野で必須単語。
* zoologi / 动物学 /  
  　- 選定理由: 動物学は「动物学」が最も標準的。  
  　- 学習コスト: 「动」「物」「学」は頻出かつ比較的シンプル。
* entomologi / 昆虫学 /  
  　- 選定理由: 昆虫学は「昆虫学」が定訳。  
  　- 学習コスト: 「昆」「虫」「学」は他の生物系用語と同様に重要単語。
* ornitologi / 鸟类学 /  
  　- 選定理由: 鳥類学を中国語で一般に「鸟类学」という。  
  　- 学習コスト: 「鸟」「类」「学」は (15) の「人类」と同じ「类」「学」を含むため、要素使い回し可。
* etiologi / 病因学 /  
  　- 選定理由: 病原・病因に着目する学問は「病因学」(etiology) が通例。  
  　- 学習コスト: 「病」「因」「学」は医療系で頻用される。
* patologi / 病理学 /  
  　- 選定理由: 病理学は「病理学」が定訳。  
  　- 学習コスト: 「病」「理」「学」も既出要素「病」「理」「学」でカバー可能。
* biologi / 生物学 /  
  　- 選定理由: 生物学は「生物学」。非常に一般的。  
  　- 学習コスト: 「生」「物」「学」はすでに他でも再三使われている。
* botanik / 植物学 /  
  　- 選定理由: 植物学は「植物学」が標準。  
  　- 学習コスト: 「植」「物」「学」は (23) の「生物学」と同じ「物」「学」を含む。
* anatomi / 解剖学 /  
  　- 選定理由: 解剖学を指すときは「解剖学」が広く認知される。  
  　- 学習コスト: (17) の「解剖」と同じ字を再利用。「学」で学問名を示す。

fizik / 物理 /  
選定理由: 中国語でも日本語でも「物理」は「Physics」の意味として広く認知されており、最も分かりやすい。  
学習コスト: 「物」「理」の2字はいずれも画数が比較的少なく、学問分野を示す上で有用。

1. fiziologi / 生理 /  
   選定理由: 中国語では「生理学」を「生理(学)」と呼ぶことが多く、日本語「生理学」とも対応。2文字でまとまりがよい。  
   学習コスト: 既出の「理」と組み合わせ。新出は「生」のみ。
2. optik / 光学 /  
   選定理由: 中国語・日本語ともに「光学」はOptics(光学)の意味で定着。直感的かつ簡潔。  
   学習コスト: 「光」「学」は画数も比較的少ない。新たに「学」が登場。
3. estetik / 美学 /  
   選定理由: Aestheticsを中国語では「美学」、日本語でも同じ「美学」と訳す。一般的な名称。  
   学習コスト: 「美」は初出。2文字表現でわかりやすい。
4. balistik / 弹道学 /  
   選定理由: Ballisticsは中国語で「弹道学」、日本語でも「弾道学」で通じる。やや字数は多いが、通用度が高い。  
   学習コスト: 「弹」「道」「学」のうち「学」は既出。「弹」は弓偏に単、「道」は日本人にも馴染み深い漢字。
5. metrik / 韵律 /  
   選定理由: 「metrik」は詩の韻律学(Prosody)を指す。中国語でも「韵律」は「押韵や詩のリズム」を表すため自然。  
   学習コスト: 「韵」「律」はどちらも比較的画数が多めだが、実際の用語として妥当。
6. fonetik / 语音 /  
   選定理由: Phoneticsを中国語では通常「语音学」というが、短縮して「语音」としても通じる。日本語「音声学」にも対応。  
   学習コスト: 「语」「音」と2文字でシンプル。やや学問名としては「语音学」が正確だが、短縮優先。
7. mikrob / 微生物 /  
   選定理由: 「微生物」は中国語でも日本語でも“microbe”の定訳。  
   学習コスト: 「微」は新出。「生」「物」は既出(「生理」「物理」)で使い回せる。
8. mikrometr / 千分尺 /  
   選定理由: 中国語でマイクロメータ(測定工具)を指す一般的名称が「千分尺」。専門的にも通じる。  
   学習コスト: 新たに「千」「分」「尺」が登場するが、いずれも画数は比較的少ない。
9. mikroskop / 显微镜 /  
   選定理由: Microscopeの中国語は「显微镜」が定訳。日本語「顕微鏡」とも通じる。  
   学習コスト: 「显」「微」「镜」のうち「微」は既出(微生物)。新出の「显」「镜」は画数やや多めだが広く使われる。
10. miĥael / 米迦勒 /  
    選定理由: 「Michael」の一般的中国語表記は「迈克尔」や「米迦勒」など複数あるが、聖書等では「米迦勒」もよく登場。  
    学習コスト: 「米」は比較的覚えやすい。新たに「迦」「勒」が加わるが、人名表記として妥当。
11. mirabel / 米拉贝尔 /  
    選定理由: 果物名(ミラベル)の音訳としては「米拉贝尔」が通用する形の一つ。  
    学習コスト: 「米」は既出。「拉」「贝」「尔」は新出だが、外来語表記に頻出する偏旁を含む。
12. spirit/ism## / 降灵 /  
    選定理由: 交霊術・降霊術を指す場合、中国語では「降灵术」「招灵术」などが用いられる。「降灵」で簡潔に示した。  
    学習コスト: 「降」「灵」は新出だが、いずれも比較的通用度が高い。
13. spirit/ist## / 降灵师 /  
    選定理由: 「～術師」に相当する語として「～师」が妥当。英語での“spiritist”や“medium”に近い意味合い。  
    学習コスト: 「降」「灵」は上と同じ。「师」は「師」の簡体字で、学習者にも比較的知られやすい。
14. muz / 缪斯 /  
    選定理由: 「詩神」「Muse」の中国語音訳として一般的なのは「缪斯」(簡体字)。  
    学習コスト: 「缪」「斯」ともに外来語表記で出現頻度があるが、意味合いはやや想像しづらいかもしれない。
15. fetiĉ / 物神 /  
    選定理由: 「物神」は日本語「物神(ぶっしん)」としても通じ、中国語でも「拜物神」等の用例がある。fetish(物神)の直訳に近い。  
    学習コスト: 「物」は既出、「神」は新出。神を表す重要文字。
16. spiritualism / 唯心论 /  
    選定理由: 哲学上の「唯心論(idealism)」を指す言葉として中国語で定着。日本語の「唯心論」に対応。  
    学習コスト: 「唯」「心」「论」(簡体字)はいずれもそれなりに使用頻度が高い。
17. spiritualist / 唯心者 /  
    選定理由: 「唯心論の人(唯心論者)」に相当し、中国語で「唯心者」と略しても通じる。  
    学習コスト: 「唯」「心」は既出。「者」は新出だが汎用性が高い字。
18. medium / 灵媒 /  
    選定理由: 英語"medium"が指す「霊媒」は中国語で「灵媒」が一般的(「通灵者」とも)。短く分かりやすい。  
    学習コスト: 「灵」は既出。「媒」は新出だが、新聞やメディア(媒体)関連でよく目にする字。
19. teism / 有神论 /  
    選定理由: 「有神論」は日本語・中国語ともに“theism”の定訳。  
    学習コスト: 「有」「神」「论」。すでに「神」「论」は既出。「有」は日常でも使う簡単な字。
20. teologi / 神学 /  
    選定理由: 「神学」は日本語・中国語ともに“theology”の定訳。  
    学習コスト: 「神」は既出。2文字で非常にシンプル。
21. indiga / 靛青 /  
    選定理由: インジゴ染料などを指す場合、中国語では「靛青」を用いる。日本語でも「靛青」は通じる。  
    学習コスト: 「靛」「青」はともにやや画数あるが、組合せとしてはコンパクト。
22. indigo / 靛青 /  
    選定理由: 上と同様、「インディゴ」の訳として「靛青」が一般的。同一の割当で問題ない。  
    学習コスト: 同じ熟語なので追加学習不要。
23. anagram / 变位词 /  
    選定理由: Anagramは中国語で「变位词」(文字を並び替えた語)。日本語的には「アナグラム」。  
    学習コスト: 「变」「位」「词」はいずれも日常でもわりと出現しやすい漢字(簡体字含む)。
24. monogram / 字母组 /  
    選定理由: Monogram(モノグラム)は中国語で「字母组合」などと表現されるが、少し省略して「字母组」とした。  
    学習コスト: 「字」「母」「组」で3文字。いずれも基礎的な偏旁を含み、汎用性は高い。

apopleksi / 中风 / 「卒中」「脳卒中」に相当。中国語の一般的な用語 / 新出：「中」「风」。どちらも常用度が高く、意味推測もしやすい

* paroksism / 发作 / 「発作」「発症」「急に症状が出る」という意味で、中国語医療用語として定着 / 新出：「发」「作」。いずれも非常に頻出の漢字で、再利用の可能性大
* anapest / 未対応 / 詩の韻律用語であり、1文字や簡単な熟語で直感的に示すのが困難なため今回は未対応とする / ―
* antitez / 对立 / 「アンチテーゼ＝対立概念」に近い意。中国語でも「对立」は一般的 / 新出：「对」「立」。基本的な漢字で汎用性がある
* mani / 狂 / 「マニア（狂熱的・常軌を逸した状態）」を1文字で示すなら「狂」が最も近い / 新出：「狂」。日本語「狂(くる)う」、中国語「疯狂」などとも関連し理解しやすい
* superstiĉ / 迷信 / そのまま「迷信」として2文字熟語を採用 / 新出：「迷」「信」。日本語・中国語ともに意味がつかみやすい
* fanatik / 狂热 / 「狂信的」「ファナティック」な熱狂を指す。中国語では「狂热」が自然 / 「狂」は既出。新出：「热」。日常でも使う字なので覚えやすい
* bigot / 狂信 / 「狂信者」「偏狭な信仰者」をイメージ。「fanatik」の派生的ニュアンスとして「狂信」を割り当て / 「狂」「信」は既出。新出文字なし
* lunatik / 狂人 / 「精神的に常軌を逸した人」「lunatic」を指す。中国語でも「狂人」という言い方は通じる / 「狂」は既出。新出：「人」。ごく基本字
* somnambul / 梦游 / 「夢遊病」「睡眠中に歩き回る」。中国語で「梦游」は通じる / 新出：「梦」「游」。どちらも頻出の部首(夕, 氵など)を含む
* idiot / 白痴 / 医学的「白痴」は日中ともに専門用語的に通じる。「バカ」より医学的 / 新出：「白」「痴」。やや画数は多いが医学用語として定着
* paraliz / 麻痹 / 「麻痺」の意。日中ともに医療用語として対応 / 新出：「麻」「痹」。どちらも医療文脈で用いられやすい
* spasm / 痉挛 / 「けいれん」を指す中国語の代表的専門用語 / 新出：「痉」「挛」。医学・生理学関連で使用
* hipnot / 催眠 / 「催眠」「催眠状態」に相当。中国語でも「催眠术」などで用いる / 新出：「催」「眠」。眠(目+冖)は睡眠関連で今後も出る可能性大
* apoteoz / 神化 / 「神格化」「神にする」。中国語でも「神化」は「神格化」とほぼ同義 / 新出：「神」「化」。どちらも一般的
* sven / 昏倒 / 「失神」「意識を失う」動作を表す際、中国語では「昏倒」がわかりやすい / 新出：「昏」「倒」。今後も「人が倒れる」を表現する際に「倒」は使える
* sinkop / 昏厥 / 医学用語としての「失神」「意識喪失(一時的)」。svenとほぼ同義だが本格的な臨床用語 / 「昏」は既出。新出：「厥」。専門度は高いが医学用語として整合的
* vort / 词 / 「言葉」「単語」を指す。中国語で「词」は最も基本的な単語表現 / 新出：「词」。言(讠)偏は言語関連で今後も有用
* verb / 动词 / 「動詞」。中国語の文法用語として定番 / 「词」は既出。新出：「动」。日常でも「运动(運動)」などよく見かける
* fraz / 句 / 「文」「文章」「文の単位としての一句」を示すなら「句」がシンプル / 新出：「句」。日本語の「句読点」にも通じる
* propozici / 命题 / 「命題」「提案」「論理的主張」。中国語で論理・数学的文脈の「命题」に対応 / 新出：「命」「题」。論理や学術でよく使う
* vokativ / 呼格 / 「呼格」。中国語で「呼格」はそのまま文法用語 / 新出：「呼」「格」。呼は「叫ぶ」、格は「文法上の格」
* ablativ / 夺格 / 「奪格」。中国語文法用語として「夺格」をそのまま使う / 「格」は既出。新出：「夺」。意味合いも直感的に対応
* akuzativ / 宾格 / 「対格(目的格)」。中国語の文法では「宾格」が広く使われる / 「格」は既出。新出：「宾」。文法用語として標準
* idiotism / 习语 / 「慣用句・慣用表現」全般。中国語では「习语」が比較的汎用的 / 新出：「习」「语」。どちらも言語学習でよく登場

### 1) ES: proverb / 谚 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 谚
2. 選定理由:
   * 中国語で「谚语(yànyǔ)」が「ことわざ／諺語」を意味し、その中心字「谚」は「諺(ことわざ)」を端的に示す。
   * 日本語の「諺(げん)」の旧字に近く、意味も推測しやすい。
3. 学習コスト:
   * やや画数(12画)は多めだが、後述の“sentenc(格言)”とも同じ字に統一することで、新規漢字を増やさないようにした。

### 2) ES: sentenc / 谚 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 谚
2. 選定理由:
   * 「sentenc」はここでは「格言・金言・箴言」のような「短い名言」を指す。
   * 厳密には「格言」と「諺(ことわざ)」はややニュアンスが異なるが、学習コストを抑えるため「谚」で兼用。
   * 実際に「谚语」には広い意味での簡短な言葉(箴言・俗説)が含まれると捉えてよい。
3. 学習コスト:
   * 「proverb」と同じ漢字を使うことで、新たな文字の追加を避けた。

### 3) ES: parafraz / 释 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 释
2. 選定理由:
   * 中国語の「解释(jiěshì)」「释义(shìyì)」など「解釈・言い換え」の際に使われる主要字。
   * 「paraphrase＝言い換え・説明」のイメージに合致。
3. 学習コスト:
   * 偏旁「讠(言偏)」を含む形の旧字は「釋」だが、簡体字は「释」で比較的画数が少ない(8画)。

### 4) ES: trop / 喻 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 喻
2. 選定理由:
   * 中国語の「比喻(bǐyù)」は「比喩」を指す。
   * 「trop」は「比喩・比喩的表現(figure of speech)」を広く含むので、中心となる「喻」を割り当て。
3. 学習コスト:
   * 後述の「metafor(隠喩)」とも同じ「喻」を流用し、新規文字を増やさないようにした。

### 5) ES: metafor / 喻 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 喻
2. 選定理由:
   * 「metaphor(隠喩)」は中国語で「隐喻(yǐnyù)」と書くが、簡潔化のため「喻」を流用。
   * 「暗喻(メタファー)」「明喻(直喩)」など喩全般に通じる。
3. 学習コスト:
   * 既に「trop」でも使った「喻」を再利用し、覚える漢字を最小限に抑える。

### 6) ES: indikativ / 指 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 指
2. 選定理由:
   * 「indicative」は「指示法」の意。中国語では「指示」「指示语」等に「指」を用いる。
   * 「直説法」は「直」と書くこともあるが、ここでは後述の“demonstrativ”との兼用を考え、「指」に統一。
3. 学習コスト:
   * 比較的画数(9画)は多くない。

### 7) ES: demonstrativ / 指 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 指
2. 選定理由:
   * 「demonstrative(指示詞)」は中国語で「指示代词」。
     1. indikativ とほぼ同根の概念なので「指」で兼用。
3. 学習コスト:
   * 既出の「指」を再利用し、新規文字を増やさない。

### 8) ES: vokal / 元 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 元
2. 選定理由:
   * 中国語で母音は「元音(yuányīn)」。そこから中心漢字「元」を抽出。
   * 日本語でも「元」は「もと・げん」と読め、比較的認知しやすい。
3. 学習コスト:
   * 基本漢字であり、画数も少ない(4画)ため学習負荷が低い。

### 9) ES: konsonant / 辅 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 辅
2. 選定理由:
   * 中国語で子音は「辅音(fǔyīn)」。その主要字「辅」を使用。
   * 「輔」の簡体字で、日本語にも「補佐する・助ける」の「輔」として馴染みがある(旧字だが意は推測可能)。
3. 学習コスト:
   * 新規文字だが、母音「元音」と対で扱われるため印象に残りやすい。

### 10) ES: asonanc / 韵 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 韵
2. 選定理由:
   * 中国語「韵(yùn)」は「韻(韻律・押韻)」を指す。
   * asonanc(母音の押韻)やrim(韻)とセットで「韵」を用いて重複利用。
3. 学習コスト:
   * 後述「rim」と同じ字を採用し、学習文字を増やさない。

### 11) ES: rim / 韵 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 韵
2. 選定理由:
   * 「rim」＝「韻、韻を踏むこと」はまさに中国語「韵」「韵脚」などに対応。
   * 上記(asonanc)の流用。
3. 学習コスト:
   * 同じ「韵」で統一し、漢字のバリエーションを抑える。

### 12) ES: silab / 节 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 节
2. 選定理由:
   * 音節＝「音节(yīnjié)」の後半字「节」から採用。
   * 「节」は「区切り／節(ふし)」を表し、英語の“syllable”の分割感にも合致。
3. 学習コスト:
   * 画数(5画)が少なく、比較的覚えやすい。

### 13) ES: bombast / 夸 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 夸
2. 選定理由:
   * 「夸张(kuāzhāng)」＝大げさ・誇張、「夸夸其谈」＝大言壮語。
   * “bombast”＝誇大・大言壮語のイメージに合うので、「夸」を中心に採用。
3. 学習コスト:
   * 画数(6画)が少なく、シンプル。

### 14) ES: satir / 讽 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 讽
2. 選定理由:
   * 中国語で「讽刺(fèngcì)」が「風刺・皮肉」を意味する。
   * “satire”にも対応するため、中心漢字「讽」を採用。
3. 学習コスト:
   * 以降の「paskvil(風刺文)」とも共有し、学習負担を削減。

### 15) ES: paskvil / 讽 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 讽
2. 選定理由:
   * 「paskvil」は「風刺文」や痛烈な諷刺文を指す。
   * 上記satir(讽刺)と同様の意味合いで重複利用。
3. 学習コスト:
   * 既出の「讽」を流用することで、新規漢字を増やさない。

### 16) ES: fiktiv / 假 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 假
2. 選定理由:
   * 「仮(か)」「仮定」「虚構」等を示す「假」の簡体字が同形。
   * “fiktiv”＝「虚構の・架空の」の意味を簡潔に表せる。
3. 学習コスト:
   * 次項「apokrif(偽作)」ともまとめ、一文字に集約して学習量を減らす。

### 17) ES: apokrif / 假 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 假
2. 選定理由:
   * 「apocryphal(偽作・疑わしい著作)」は「假(偽り)」でおおむね代用可能とした。
   * 厳密には「伪(wěi)」とも使い分けるが、学習コスト削減のため「假」で一元化。
3. 学習コスト:
   * 16) fiktivと同一字を活用し、新規文字を追加しない。

### 18) ES: sofism / 诡 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 诡
2. 選定理由:
   * 「诡辩(guǐbiàn)」＝「詭弁・こじつけ」を意味し、sophismと合致。
   * 単独の「诡」は「怪しい・奇妙・ずるい」のニュアンスもあり、詭弁を連想させる。
3. 学習コスト:
   * 新規文字だが、詭弁を象徴する要としてコンパクトに表せる。

### 19) ES: skeptik / 疑 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 疑
2. 選定理由:
   * 「怀疑(huáiyí)」＝懐疑。「疑」は「疑う・疑念」を表す重要字。
   * “skeptical”の核心は「疑い」なので簡単に連想可能。
3. 学習コスト:
   * 日本語でも「疑問」「疑う」など類似字形で馴染みがあるが、画数はやや多い(14画)。

### 20) ES: spekulativ / 思 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 思
2. 選定理由:
   * 「思辨(sībiàn)」＝思弁(哲学的思考)は、中国語で「投机(儲けの投機)」とは異なる語。
   * 単に「思(おもう)」をキーワードにして「思索」「思弁的思考」のイメージに近づけた。
3. 学習コスト:
   * 基本漢字で覚えやすく、既に学んでいる人も多い。

### 21) ES: metempsikoz / 轮回 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案熟語: 轮回
2. 選定理由:
   * 「輪廻」は中国語で「轮回(lúnhuí)」。1文字のみでは意味が不十分なため2文字熟語化。
   * 日本語話者にも「輪回」「回転」といったニュアンスで想像しやすい。
3. 学習コスト:
   * 新出の「轮」「回」2文字だが、合わせて「輪廻(りんね)」相当の定型表現なので覚えやすい。

### 22) ES: transitiv / 及物 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案熟語: 及物
2. 選定理由:
   * 中国語で他動詞は「及物动词(jíwù dòngcí)」。うち「及物」は「他動」の概念を端的に示す。
   * 1文字では適訳が難しいため2文字熟語に。
3. 学習コスト:
   * 「及」「物」それぞれ初登場だが、他動詞を学ぶ際の基本用語としてはやむを得ない。

### 23) ES: transept / 横厅 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案熟語: 横厅
2. 選定理由:
   * 「transept(教会建築の十字翼廊)」は中国語で「横厅」「横廊」等が使われる場合がある。
   * 単一字での適訳が難しく、2文字熟語で対応。
3. 学習コスト:
   * 「横」は比較的画数多め(15画)だが、建築専門用語ゆえやむを得ない。

### 24) ES: marĝen / 边 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 边
2. 選定理由:
   * 「margin(余白)」を厳密に1文字で表すのは難しいが、「边(縁・へり)」で近い概念を示す。
   * 印刷などの余白は「页边距」などというが、簡易的に「边」で対応。
3. 学習コスト:
   * 画数(5画)が比較的少なく、取り回しやすい。

### 25) ES: elips / 省 / 選定理由・根拠 / 学習コスト等

1. 提案簡体字: 省
2. 選定理由:
   * 文法上の省略＝「省略(shěnglüè)」。そこから中核字「省」を抽出。
   * 幾何学の「楕円(椭圆)」ではなく、文章上の「省略(ellipsis)」の意味で用いる。
3. 学習コスト:
   * 既に「释(解釈)」など“言偏”要素が出ているが、ここは「省」で統一。画数(9画)もまずまず。

elizi / 省 /

* + 選定理由: 「省」には「省略する」「省く」などの意味があり、母音を省略する“エリジオン”と馴染む。
  + 学習コスト等: 一字で意味を伝えやすく、「省」は日中双方で“略す”ニュアンスが比較的わかりやすい。

1. deklinaci / 格 /
   * 選定理由: 文法用語の「格変化」を指す際、中国語でも「格」(例: 主格、宾格) を使う。
   * 学習コスト等: 「格」は日本語の文法用語でも用いられ、画数も少なく分かりやすい。
2. fleksi / 折 /
   * 選定理由: 「折」には「折り曲げる、曲げる」という意味があり、「語尾変化」の“変形(曲げる)”イメージと重ねられる。
   * 学習コスト等: 画数が少なく、既に日中で馴染みのある字。
3. pleonasm / 冗 /
   * 選定理由: 「冗」は「冗長」「冗談」など“余分・むだ”の含意が強く、「冗言法(冗語法)＝pleonasm」をイメージしやすい。
   * 学習コスト等: 単字で画数が少なく、冗長を連想しやすい。
4. paradigm / 式 /
   * 選定理由: 中国語で「模式(パターン)」「范式(パラダイム)」などに含まれる「式」は、“一定の形式・型・表”を表すため、語形変化表(paradigm)のニュアンスを単字でまとめやすい。
   * 学習コスト等: 「式」は日中ともに「式(しき)」「公式」などで馴染みが深い。
5. anomali / 异 /
   * 選定理由: 簡体字「异」(旧字「異」) は“普通と違う、変則的”という意味をもつ。
   * 学習コスト等: 日本語の「異」に相当し、画数が少ない。
6. variant / 变 /
   * 選定理由: 「变」(旧字「變」) は“変化・変形”を意味し、“変種・異文”のイメージに合う。
   * 学習コスト等: 「异」と同様に画数が少なく、日中双方で“変化”を連想しやすい。
7. ofer / 祭 /
   * 選定理由: 「祭」には“神に供える、まつる”という意味があり、特に宗教的な供え物・犠牲を強調できる。
   * 学習コスト等: 日本語「祭り」、中国語「祭祀」と共通する概念で理解しやすい。
8. dediĉ / 献 /
   * 選定理由: 「献」には“捧げる、献上する、献身する”といったニュアンスがあり、dedicate の意味に対応。
   * 学習コスト等: 日中ともに「献身」「貢献」などで用いる漢字なので分かりやすい。
9. kontribu / 贡 /

* 選定理由: 「贡」(旧字「貢」) は“貢ぐ、献上する”の意味があり、特に「贡献(貢献)」として“寄与・貢献”を示唆する。
* 学習コスト等: 「贡」は「貢」と同源で、日本語でも「貢献」のイメージに直結。

1. tribut / 贡 /

* 選定理由: 「tribute = 貢ぎ物」のイメージは中国語でも「贡品」という形で表現される。同じ「贡」を再利用。
* 学習コスト等: 既出の「贡」を重複割当し、学習コストを抑える。

1. sin/don## / 献 /

* 選定理由: 「献身的」の「献」そのまま。すでに「dediĉ(献)」で使っている字を流用し、“自己を捧げる”意味を強調。
* 学習コスト等: 既出の「献」を重複使用。

1. abnegaci / 弃 /

* 選定理由: 「弃」(旧字「棄」) は“放棄する、捨てる、自己を否定する”といったニュアンスをもつ。abnegation(自己犠牲・自己放棄)と結びつきやすい。
* 学習コスト等: 画数も少なく、日中で「放棄」「棄権」など連想しやすい。

1. bastard / 私生 /

* 選定理由: 現代中国語では「私生子(婚外で生まれた子)」が一般的。「私生」でも“私生児”として“非嫡出子(庶子)”を想起可能。
* 学習コスト等: 単字で対応が難しいため2文字に。日本語でも「私生児」の語感が分かりやすい。

1. orf / 孤儿 /

* 選定理由: 中国語「孤儿」は“孤児”の直接的な言い方。
* 学習コスト等: 「孤」は“孤独”“孤立”からも連想可。「儿」は基本画数も少ない。

1. vidv / 鳏夫 /

* 選定理由: 中国語で「鳏夫」は“男やもめ、未亡人(男性側)”の意味。
* 学習コスト等: 単字「鳏」だけだと認知度が低いので2文字表記に。

1. sklav / 奴隶 /

* 選定理由: 中国語「奴隶」は“奴隷”の標準的表現。
* 学習コスト等: 単字「奴」だけでは不十分なので2文字に。いずれも常用字で比較的わかりやすい。

1. ermit / 隐士 /

* 選定理由: 「隐士」は“隠遁して暮らす人”=“隠者”の意味。
* 学習コスト等: 単字「隐」だけだと“隠れる”のみ。2文字で明確化。

1. fakir / 苦行僧 /

* 選定理由: 中国語では「苦行僧」が“苦行を積む聖者・行者”を表す最も近い表現。
* 学習コスト等: 3文字だが、それぞれ「苦」「行」「僧」はすでに他所でも頻出の部首・形。意味連想もしやすい。

1. viktim / 牺牲 /

* 選定理由: 「牺牲」は“(宗教的)犠牲”や“被害者”を含む意味。エスペラントのviktimと合致。
* 学習コスト等: 中国語で“犠牲にする、犠牲者”と馴染み深い言葉。

1. martir / 殉教 /

* 選定理由: 「殉教」は宗教的な“殉教(者)”を表す。短くまとめるなら2文字で。
* 学習コスト等: 「殉」はやや画数多めだが、他候補(如「烈士」)より“宗教上の殉死”を明確に示せる。

1. laik / 俗人 /

* 選定理由: 「俗人」は“聖職者ではない一般の人”＝“世俗の人”を表す。
* 学習コスト等: 2文字ながら「俗」「人」は基本的な字で、意味を伝えやすい。

1. herez / 异端 /

* 選定理由: 「异端」は“異端・ヘレシー”の定訳。
* 学習コスト等: 「异」は既出(「異」)、そこに「端」を組み合わせて短い熟語。

1. profan / 亵渎 /

* 選定理由: 中国語で“冒瀆(冒涜)”に近い強い言い方が「亵渎」。宗教的な“穢す・冒涜する”ニュアンス。
* 学習コスト等: 単字では表しにくい概念。やや画数は多めだが、正確さを重視。

1. mim / 默剧 /

* 選定理由: 「默剧」は“黙(無言)の芝居”＝パントマイムを指す。哑剧(口の利けない劇)とも類似だが、こちらのほうが“黙”で日本語話者にも直感的に通じやすい。
* 学習コスト等: 2文字だがどちらも比較的学習しやすい。